預言者伝（スィーラ）

第 11 巻

試練に次ぐ試練

ラジーウ、マウーナの井戸、ナディール族、恐怖時の礼拝



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

預言者伝（スィーラ）

第 11 巻

試練に次ぐ試練

ラジーウ、マウーナの井戸、ナディール族、恐怖時の礼拝 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

ٱلَّذِينَ إِذَآ أَصَٰبَتۡهُم مُّصِيبَةٞ قَالُوٓاْ إِنَّا لِلَّهِ وَإِنَّآ إِلَيۡهِ رَٰجِعُونَ

「災難に遭うと、『本当にわたしたちは、アッラーのもの。かれの御許にわたしたちは帰ります。』と言う者、」

雌牛章 2:156

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

試練に次ぐ試練の中でしもべたちを堅固にし、その忍耐を後の世代の光とされたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たちに祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『預言者伝（スィーラ）』第 11 巻は、ウフドとハンダクの間の時期を語ります。フバイブと殉教したクッラー（クルアーン読誦者）たち、酒の禁止、ナディール族の追放、そして恐怖時の礼拝です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、**夜明け前のアラビアのオアシス**です。小さな丘の上には**古い石の砦の廃墟**があり、その周りを暗い**ナツメヤシ園**が囲んでいます。手前には低い土壁と若いナツメヤシが並び、うっすらとした**霧**に包まれています。空にはまだ**三日月**といくつかの星が輝き、地平線には**夜明けの光**が見え始めています。

砦とナツメヤシ園は、ナディール族の砦とそのナツメヤシの木々を思い起こさせます（集合章 59:2、5）。彼らはその砦がアッラーの定めから自分たちを守ってくれると思っていました。静かな夜は、ウフドとハンダクの間にムスリムが経験した試練に次ぐ試練を、夜明けの光は困難の後に来るアッラーの助けと希望を象徴しています。

下部の紺色の帯は、**細い金色の線**に縁取られ、著者名が記される場所です。

目次

試練に次ぐ試練 — はじめに

1. ウフドの後：敵が大胆になる — スィーラ書

2. ラジーウの出来事 — 『サヒーフ・ブハーリー』3045

3. フバイブと一房のブドウ — 『サヒーフ・ブハーリー』3045

4. 殉教前の二ラクアの礼拝 — 『サヒーフ・ブハーリー』3045

5. アースィムと守護の蜂 — 『サヒーフ・ブハーリー』3045

6. マウーナの井戸：七十人のクッラー — 『サヒーフ・ブハーリー』4090

7. 「カアバの主にかけて、私は勝利した！」 — 『サヒーフ・ブハーリー』4092

8. 災難時のクヌート（クヌート・ナーズィラ） — 『サヒーフ・ブハーリー』1003

9. 「私たちの民に伝えてください」 — イムラーン家章 3:169–170

10. 酒の禁止 — 『サヒーフ・ブハーリー』2464

11. ナディール族の裏切りの企て — 食卓章 5:11

12. 包囲と追放 — 『サヒーフ・ブハーリー』4028

13. ナディール族のナツメヤシ — 『サヒーフ・ブハーリー』4031

14. 偽信者たちの偽りの約束 — 集合章 59:11

15. ファイ（戦わずに得た財） — 『サヒーフ・ブハーリー』2904

16. 集合章（スーラ・アル＝ハシュル） — 集合章 59:2

17. ウンム・サラマと災難の祈り — 『サヒーフ・ムスリム』918

18. ザイド・ブン・サービト、ユダヤ文字を学ぶ — 『スナン・アビー・ダーウード』3645

19. ザート・アッ＝リカーウ — 『サヒーフ・ブハーリー』4128

20. 「誰がお前を救えるのか？」 — 『サヒーフ・ブハーリー』2910

21. 恐怖時の礼拝（サラート・アル＝ハウフ） — 『サヒーフ・ブハーリー』942

22. 約束のバドル — イムラーン家章 3:175

23. 本巻の物語の典拠 — 図；表

24. ハサンとフサインの誕生 — 『サヒーフ・ブハーリー』3749、3753、2704；ティルミズィー 3768

25. ヒジュラ暦 4 年の遠征隊（サリーヤ） — 表；『スナン・アビー・ダーウード』1249

26. 本巻の人物 — 表

27. 出来事の場所 — 地理の表

28. 年表：ヒジュラ暦 3 年ラマダーンから 4 年シャウワールまで — 表

29. 「試練に次ぐ試練」についてのよくある質問 — 12 の質問

30. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

試練に次ぐ試練

『預言者伝（スィーラ）』第 10 巻はウフドで終わりました。傷、殉教者、そして「日々は人々の間で巡り変わる」というアッラーの約束です。その後の二年間、**ウフド（ヒジュラ暦 3 年シャウワール）からハンダクの戦い（ヒジュラ暦 5 年シャウワール）まで**、ムスリムは**試練に次ぐ試練**を経験しました。宣教者たちは裏切りによって殺され、あるユダヤ部族はアッラーの使徒 ﷺ の暗殺を企て、アラブの諸部族はマディーナを攻撃しようと大胆になり始めました。

しかし同じ時期に、アッラーは**シャリーア（聖法）を完成**させてもいかれました。酒が禁じられ、恐怖時の礼拝が教えられ、集合章が啓示されました。本巻はこれらの物語を、クルアーンと真正なハディースに基づいて語ります。スィーラ書の物語には、その信頼度を記しています。

ウフドとハンダクの間の年表（ヒジュラ暦3〜5年）

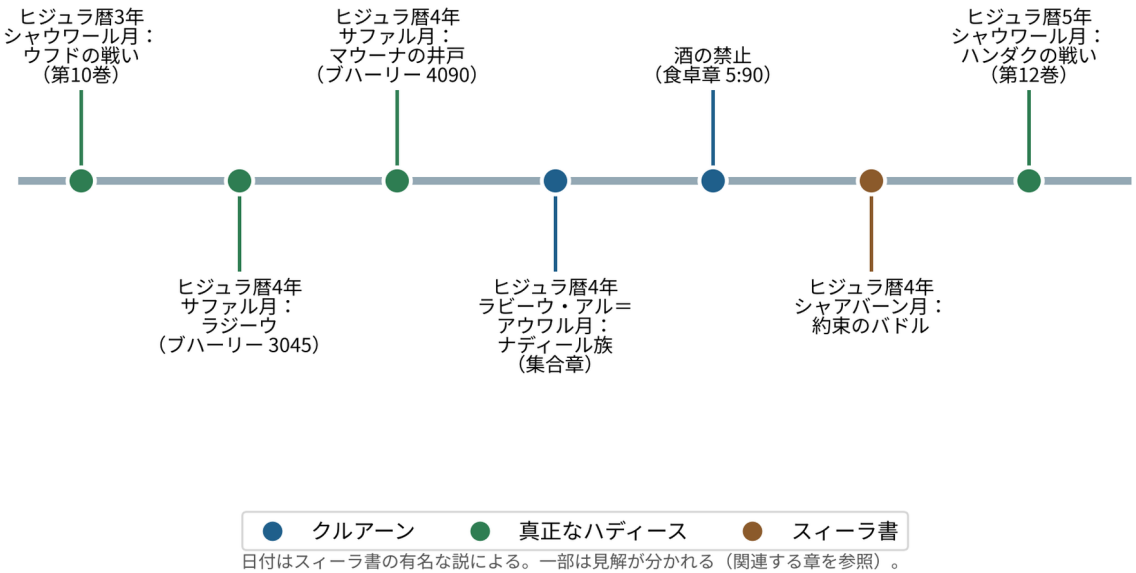


図 1：ウフドとハンダクの間の年表。

注：本書のクルアーンの節の日本語訳は三田了一訳による。各ハディースの等級はハディースの枠内に示している。スィーラ書からの情報は茶色の「スィーラの注」の枠に入れ、歴史的事実には出典のリンクを付している。

ウフドの後：敵が大胆になる

ウフドでの敗北は、マディーナの外にも影響を及ぼしました。バドルの後には恐れを抱いていたアラブの諸部族が、今やムスリムは**弱くなった**と考えたのです。マディーナを攻撃するために兵力を集め始める部族もあれば、ムスリムを欺く策略を探す部族もありました。

スィーラの注：アブー・サラマとアサド族

スィーラ書によれば、ヒジュラ暦4年ムハッラム月、アッラーの使徒ﷺは**アサド族**がマディーナ攻撃の準備をしているとの知らせを受けました。預言者は**アブー・サラマ**を約150人の教友とともに派遣しました。彼らが素早く到着したため、敵は戦わずに散り散りになりました。

アブー・サラマはマディーナに戻りましたが、ウフドで負った傷が**再び出血し**、間もなく亡くなりました。その妻ウンム・サラマの物語は、第17章で語ります。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』；イブン・サアド『大伝記集（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』。

バドルの後	ウフドの後
アラブ諸部族はマディーナを恐れた	アラブ諸部族が大胆になり始めた
ユダヤのカイヌカー族が追放された	ユダヤのナディール族が裏切りを企てた
偽信者たちは身を隠していた	偽信者たちはますます公然と語るようになった

教訓：敵は常に信仰者の**弱さ**を見張っています。しかしアッラーの使徒ﷺは、その状態を長引かせませんでした。マディーナの威信を回復するため、素早く行動されたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ラジーウの出来事

ヒジュラ暦4年サファル月、少人数の教友の一団が派遣されました。イブン・イスハークの伝承によれば、イスラームを学びたいと言ったアダル族とカーラ族の求めによるものでした。**ラジーウ**という名の井戸で、彼らは裏切られました。アブー・フライラ رضى الله عنه はこう語っています：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3045 番

حَدَّثَنَا أَبُو الْيَمَانِ، أَخْبَرَنَا شُعَيْبٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ أَخْبَرَنِي عَمْرُو بْنُ أَبِي سُفْيَانَ بْنِ أَسِيدِ بْنِ جَارِيَةَ الثَّقَفِيُّ ـ وَهْوَ حَلِيفٌ لِبَنِي زُهْرَةَ وَكَانَ مِنْ أَصْحَابِ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ أَنَّ أَبَا هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ بَعَثَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم عَشَرَةَ رَهْطٍ سَرِيَّةً عَيْنًا، وَأَمَّرَ عَلَيْهِمْ عَاصِمَ بْنَ ثَابِتٍ الأَنْصَارِيَّ جَدَّ عَاصِمِ بْنِ عُمَرَ، فَانْطَلَقُوا حَتَّى إِذَا كَانُوا بِالْهَدَأَةِ وَهْوَ بَيْنَ عُسْفَانَ وَمَكَّةَ ذُكِرُوا لِحَيٍّ مِنْ هُذَيْلٍ يُقَالُ لَهُمْ بَنُو لِحْيَانَ، فَنَفَرُوا لَهُمْ قَرِيبًا مِنْ مِائَتَىْ رَجُلٍ، كُلُّهُمْ رَامٍ، فَاقْتَصُّوا آثَارَهُمْ حَتَّى وَجَدُوا مَأْكَلَهُمْ تَمْرًا تَزَوَّدُوهُ مِنَ الْمَدِينَةِ فَقَالُوا هَذَا تَمْرُ يَثْرِبَ. فَاقْتَصُّوا آثَارَهُمْ، فَلَمَّا رَآهُمْ عَاصِمٌ وَأَصْحَابُهُ لَجَئُوا إِلَى فَدْفَدٍ، وَأَحَاطَ بِهِمُ الْقَوْمُ فَقَالُوا لَهُمُ انْزِلُوا وَأَعْطُونَا بِأَيْدِيكُمْ، وَلَكُمُ الْعَهْدُ وَالْمِيثَاقُ، وَلاَ نَقْتُلُ مِنْكُمْ أَحَدًا. قَالَ عَاصِمُ بْنُ ثَابِتٍ أَمِيرُ السَّرِيَّةِ أَمَّا أَنَا فَوَاللَّهِ لاَ أَنْزِلُ الْيَوْمَ فِي ذِمَّةِ كَافِرٍ، اللَّهُمَّ أَخْبِرْ عَنَّا نَبِيَّكَ. فَرَمَوْهُمْ بِالنَّبْلِ، فَقَتَلُوا عَاصِمًا فِي سَبْعَةٍ، فَنَزَلَ إِلَيْهِمْ ثَلاَثَةُ رَهْطٍ بِالْعَهْدِ وَالْمِيثَاقِ، مِنْهُمْ خُبَيْبٌ الأَنْصَارِيُّ وَابْنُ دَثِنَةَ وَرَجُلٌ آخَرُ، فَلَمَّا اسْتَمْكَنُوا مِنْهُمْ أَطْلَقُوا أَوْتَارَ قِسِيِّهِمْ فَأَوْثَقُوهُمْ فَقَالَ الرَّجُلُ الثَّالِثُ هَذَا أَوَّلُ الْغَدْرِ، وَاللَّهِ لاَ أَصْحَبُكُمْ، إِنَّ فِي هَؤُلاَءِ لأُسْوَةً. يُرِيدُ الْقَتْلَى، فَجَرَّرُوهُ وَعَالَجُوهُ عَلَى أَنْ يَصْحَبَهُمْ فَأَبَى فَقَتَلُوهُ، فَانْطَلَقُوا بِخُبَيْبٍ وَابْنِ دَثِنَةَ حَتَّى بَاعُوهُمَا بِمَكَّةَ بَعْدَ وَقْعَةِ بَدْرٍ، فَابْتَاعَ خُبَيْبًا بَنُو الْحَارِثِ بْنِ عَامِرِ بْنِ نَوْفَلِ بْنِ عَبْدِ مَنَافٍ، وَكَانَ خُبَيْبٌ هُوَ قَتَلَ الْحَارِثَ بْنَ عَامِرٍ يَوْمَ بَدْرٍ، فَلَبِثَ خُبَيْبٌ عِنْدَهُمْ أَسِيرًا، فَأَخْبَرَنِي عُبَيْدُ اللَّهِ بْنُ عِيَاضٍ أَنَّ بِنْتَ الْحَارِثِ أَخْبَرَتْهُ أَنَّهُمْ حِينَ اجْتَمَعُوا اسْتَعَارَ مِنْهَا مُوسَى يَسْتَحِدُّ بِهَا فَأَعَارَتْهُ، فَأَخَذَ ابْنًا لِي وَأَنَا غَافِلَةٌ حِينَ أَتَاهُ قَالَتْ فَوَجَدْتُهُ مُجْلِسَهُ عَلَى

فَخِذِهِ وَالْمُوسَى بِيَدِهِ، فَفَزِعْتُ فَزْعَةً عَرَفَهَا خُبَيْبٌ فِي وَجْهِي فَقَالَ تَخْشَيْنَ أَنْ أَقْتُلَهُ مَا كُنْتُ لأَفْعَلَ ذَلِكَ. وَاللَّهِ مَا رَأَيْتُ أَسِيرًا قَطُّ خَيْرًا مِنْ خُبَيْبٍ، وَاللَّهِ لَقَدْ وَجَدْتُهُ يَوْمًا يَأْكُلُ مِنْ قِطْفِ عِنَبٍ فِي يَدِهِ، وَإِنَّهُ لَمُوثَقٌ فِي الْحَدِيدِ، وَمَا بِمَكَّةَ مِنْ ثَمَرٍ وَكَانَتْ تَقُولُ إِنَّهُ لَرِزْقٌ مِنَ اللَّهِ رَزَقَهُ خُبَيْبًا، فَلَمَّا خَرَجُوا مِنَ الْحَرَمِ لِيَقْتُلُوهُ فِي الْحِلِّ، قَالَ لَهُمْ خُبَيْبٌ ذَرُونِي أَرْكَعْ رَكْعَتَيْنِ. فَتَرَكُوهُ، فَرَكَعَ رَكْعَتَيْنِ ثُمَّ قَالَ لَوْلاَ أَنْ تَظُنُّوا أَنَّ مَا بِي جَزَعٌ لَطَوَّلْتُهَا اللَّهُمَّ أَحْصِهِمْ عَدَدًا. وَلَسْتُ أُبَالِي حِينَ أُقْتَلُ مُسْلِمًا عَلَى أَيِّ شِقٍّ كَانَ لِلَّهِ مَصْرَعِي وَذَلِكَ فِي ذَاتِ الإِلَهِ وَإِنْ يَشَأْ يُبَارِكْ عَلَى أَوْصَالِ شِلْوٍ مُمَزَّعٍ فَقَتَلَهُ ابْنُ الْحَارِثِ، فَكَانَ خُبَيْبٌ هُوَ سَنَّ الرَّكْعَتَيْنِ لِكُلِّ امْرِئٍ مُسْلِمٍ قُتِلَ صَبْرًا، فَاسْتَجَابَ اللَّهُ لِعَاصِمِ بْنِ ثَابِتٍ يَوْمَ أُصِيبَ، فَأَخْبَرَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم أَصْحَابَهُ خَبَرَهُمْ وَمَا أُصِيبُوا، وَبَعَثَ نَاسٌ مِنْ كُفَّارِ قُرَيْشٍ إِلَى عَاصِمٍ حِينَ حُدِّثُوا أَنَّهُ قُتِلَ لِيُؤْتَوْا بِشَيْءٍ مِنْهُ يُعْرَفُ، وَكَانَ قَدْ قَتَلَ رَجُلاً مِنْ عُظَمَائِهِمْ يَوْمَ بَدْرٍ، فَبُعِثَ عَلَى عَاصِمٍ مِثْلُ الظُّلَّةِ مِنَ الدَّبْرِ، فَحَمَتْهُ مِنْ رُسُلِهِمْ، فَلَمْ يَقْدِرُوا عَلَى أَنْ يَقْطَعُوا مِنْ لَحْمِهِ شَيْئًا.

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言いました：**アッラーの使徒 ﷺ は、アースィム・ブン・サービト・アル＝アンサーリーを長とする十人の偵察隊を派遣されました。**彼らがウスファーンとマッカの間のハドアに着いたとき、その知らせがフザイル族のリフヤーン部に届きました。約二百人の弓兵が彼らの足跡を追い、彼らが食べたナツメヤシの種を見つけて「これはヤスリブのナツメヤシだ」と言いました。アースィムと仲間たちは彼らを見ると高い場所に避難しましたが、包囲されました。敵は「降りて来い。お前たちには約束と保証がある。誰一人殺さない」と言いました。アースィムは言いました：「**アッラーにかけて、私は不信仰者の保証のもとには降りない。アッラーよ、私たちの知らせをあなたの預言者にお伝えください。**」彼らは矢を射て、アースィムと六人を殺しました。三人がその約束を信じて降りました。フバイブ、イブン・アッ＝ダスィナ、そしてもう一人です。捕らえられると弓の弦で縛られました。三人目は「これが最初の裏切りだ」と言ってついて行くことを拒み、殺されました。**フバイブとイブン・アッ＝ダスィナは連れて行かれ、バドルの後、マッカで売られました。**ハーリス・ブン・アーミル

の一族がフバイブを買いました。フバイブがバドルでハーリスを殺していたからです。フバイブは彼らの捕虜となりました。ハーリスの娘はこう語りました。フバイブが彼女から剃刀を借りたとき、彼女の幼い子がフバイブのもとへ這って行き、剃刀を手にした彼の膝に座りました。彼女がひどく怯えると、フバイブは言いました：**「私がこの子を殺すと恐れているのか。私はそんなことはしない。」** 彼女は言いました：**「アッラーにかけて、私はフバイブより良い捕虜を見たことがない。鎖につながれ、マッカには果物が一つもないのに、彼が一房のブドウを食べているのを見た。それはアッラーが彼に授けた糧だった。」** 彼らがフバイブを殺すために聖域の外へ連れ出したとき、彼は言いました：**「二ラクアの礼拝をさせてくれ。」** そして言いました。「私が死を恐れていると思われないのなら、もっと長く礼拝しただろう。」**捕らわれの身で殺されるすべての者のために二ラクアの礼拝のスンナを始めたのは、フバイブでした。** そして彼は詩を詠みました。「ムスリムとして殺されるなら、アッラーのためにどちらの側に倒れようとかまわない……」彼らが殺されたその日、預言者 ﷺ は教友たちにその知らせを告げられました。クライシュ族は、アースィムが自分たちの首長の一人を殺していたため、その遺体の一部を取りに人を送りました。**アッラーは雲のような蜂の群れを送って彼を守られ**、彼らはその体を少しも切り取ることができませんでした。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アル＝ヤマーン ← シュアイブ ← アッ＝ズフリー ← アムル・ブン・アビー・スフヤーン・アッ＝サカフィー ← アブー・フライラ رضي الله عنه；その中でアッ＝ズフリーは、ウバイドゥッラー・ブン・イヤード ← ハーリスの娘からも伝えている。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、ハディース第 3045 番；第 4086 番にも。訳文は一部要約。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3045

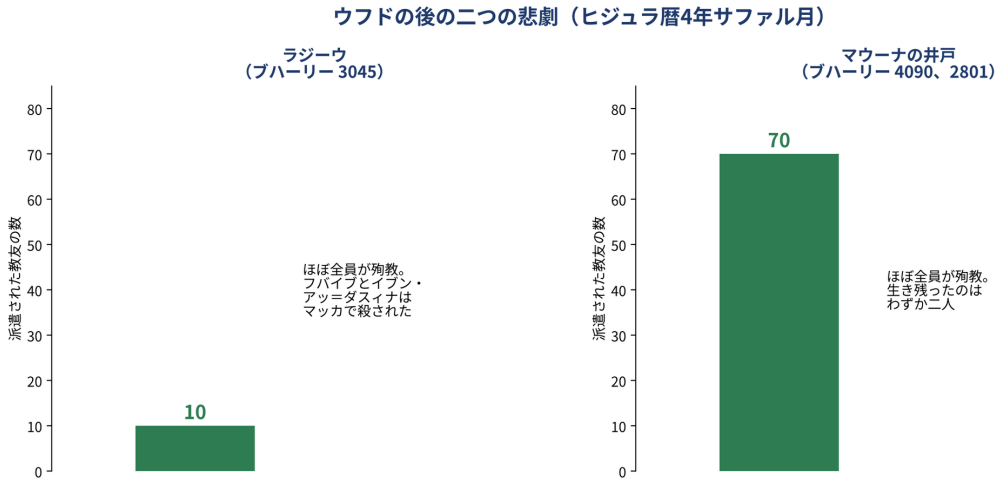


図 2：ウフドの後の二つの悲劇。

二百人に立ち向かった十人

十人が約二百人の弓兵に包囲されました。**アースィム・ブン・サービト**は不信仰者の約束に身を委ねないことを選び、こう祈りました：「**アッラーよ、私たちの知らせをあなたの預言者にお伝えください。**」 アッラーはその祈りを聞き届けられました。彼らが殺されたその日、アッラーの使徒 ﷺ は教友たちにその知らせを告げられたのです。

教訓：敵の約束を全面的に信じることはできません。三人目は縛られるとすぐに、それを「**最初の裏切り**」と呼びました。そして信仰者が人生の最期にささげる祈りは、アッラーに**聞き届けられる**のです。

フバイブと一房のブドウ

フバイブ・ブン・アディー رضى الله عنه はマッカに連れて行かれ、バドルで父を殺されたハーリス・ブン・アーミルの一族に売られました。彼は何日も捕虜として拘束され、聖なる月が過ぎるのを待って殺されることになっていました（スィーラ書）。その間に、上の真正なハディースに記録された二つの出来事が起こりました：

出来事	教訓
フバイブの膝の上の幼子と、その手の剃刀	信義と品性：彼は子どもに復讐しなかった。
鎖につながれて食べた一房のブドウ	奇跡（カラーマ）：マッカに果物がないときのアッラーからの糧。

その証言は**敵自身の娘**から出たものでした。「アッラーにかけて、私はフバイブより良い捕虜を見たことがない。」ムスリムの品性は、彼を憎む者からさえ認められたのです。

スィーラの注：ザイド・ブン・アッ＝ダスィナ

スィーラ書によれば、フバイブの仲間**ザイド・ブン・アッ＝ダスィナ**もマッカで殺されました。殺される前、アブー・スフヤーンが彼に尋ねました。「今ここにムハンマドがお前の代わりにいて、お前は家族と一緒にいられたらと願わないか？」ザイドは答えました：「**アッラーにかけて、私が家族と座っている間に、ムハンマドが今いる場所で棘一本に刺されることさえ望まない。**」アブー・スフヤーンは言いました。「ムハンマドの教友たちがムハンマドを愛するほど誰かを愛する者を、私は見たことがない。」

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』ラジーウの章。

教訓：最も弱い状況にあっても、鎖につながれ死を待つ中でも、信仰者は**品性と信義**を守り、アッラーは彼を尊ばれます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

殉教前のニラクアの礼拝

フバイブが殺されるために聖域の外の**タンイーム**へ連れ出されたとき（スィーラ書）、最後の願いは食べ物でも家族でもなく、**ニラクアの礼拝**でした。彼はそれを短くして言いました。「私が死を恐れていると思われないのなら、もっと長く礼拝しただろう。」

アブー・フライラは同じハディースの中で言いました：「**捕らわれの身で殺されるすべてのムスリムのために二ラクアの礼拝のスンナを始めたのは、フバイブでした。**」 アッラーの使徒 ﷺ に認められた一人の教友の行いが、ウンマ（共同体）のスンナとなったのです。

フバイブの詩

殉教の前、フバイブは詩を詠みました（意味）：「**ムスリムとして殺されるなら、アッラーのためにどちらの側に倒れようとかまわない。それはすべてアッラーの御前のため。彼がお望みなら、ばらばらになった五体を祝福されるだろう。**」 この詩は『サヒーフ・ブハーリー』3045 に記録されています。

教訓：**礼拝**は信仰者の最後の拠り所です。フバイブは、どのように、どこで死ぬかよりも、イスラームの上で死ぬことの方が大切だと教えてくれました。

アースィムと守護の蜂

アースィム・ブン・サービト رضي الله عنه はラジーウの一行の長で、名高いアンサールの弓兵の一人でした。バドルではクライシュ族の首長の一人を殺していました。そのため彼が殉教すると、クライシュ族は証拠とし、また復讐のために**遺体の一部を取ろうと**人を送りました。

しかしアッラーは**雲のような蜂の群れ**を送って彼の遺体を守られ、彼らは少しも切り取ることができませんでした（『サヒーフ・ブハーリー』3045）。

> **スィーラの注：アースィムの誓い**
>
> スィーラ書によれば、アースィムはかつて**多神教徒に触れず、彼らにも触れさせない**と誓っていました。ウマル・ブン・アル＝ハッターブは蜂の話を聞くと、こう言いました：「**アッラーは信仰あるしもべを、生きている間に守られたように、死後も守られる。**」
>
> **参照：**
> イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』；『ファトフ・アル＝バーリー』ハディース 3045 の注釈。

教訓：アッラーはご自身の友（ワリー）たちの名誉を、生前も死後も**守られます**。小さな蜂が、殉教者の遺体を守るアッラーの軍勢となったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

マウーナの井戸：七十人のクッラー

同じ月に、さらに大きな悲劇が起こりました。スィーラ書によれば、アーミル族の長**アブー・バラー・アーミル・ブン・マーリク**が、アッラーの使徒 ﷺ にナジュドへ宣教者を送るよう求め、保護を約束しました。アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه はこう語っています：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 4090 番

حَدَّثَنِي عَبْدُ الأَعْلَى بْنُ حَمَّادٍ، حَدَّثَنَا يَزِيدُ بْنُ زُرَيْعٍ، حَدَّثَنَا سَعِيدٌ، عَنْ قَتَادَةَ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ رِعْلاً، وَذَكْوَانَ وَعُصَيَّةَ وَبَنِي لَحْيَانَ اسْتَمَدُّوا رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم عَلَى عَدُوٍّ، فَأَمَدَّهُمْ بِسَبْعِينَ مِنَ الأَنْصَارِ، كُنَّا نُسَمِّيهِمُ الْقُرَّاءَ فِي زَمَانِهِمْ، كَانُوا يَحْتَطِبُونَ بِالنَّهَارِ وَيُصَلُّونَ بِاللَّيْلِ، حَتَّى كَانُوا بِبِئْرِ مَعُونَةَ قَتَلُوهُمْ، وَغَدَرُوا بِهِمْ، فَبَلَغَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم، فَقَنَتَ شَهْرًا يَدْعُو فِي الصُّبْحِ عَلَى أَحْيَاءٍ مِنْ أَحْيَاءِ الْعَرَبِ، عَلَى رِعْلٍ وَذَكْوَانَ وَعُصَيَّةَ وَبَنِي لَحْيَانَ. قَالَ أَنَسٌ فَقَرَأْنَا فِيهِمْ قُرْآنًا ثُمَّ إِنَّ ذَلِكَ رُفِعَ بَلِّغُوا عَنَّا قَوْمَنَا، أَنَّا لَقِينَا رَبَّنَا، فَرَضِيَ عَنَّا وَأَرْضَانَا. وَعَنْ قَتَادَةَ عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ حَدَّثَهُ أَنَّ نَبِيَّ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَنَتَ شَهْرًا فِي صَلاَةِ الصُّبْحِ يَدْعُو عَلَى أَحْيَاءٍ مِنْ أَحْيَاءِ الْعَرَبِ، عَلَى رِعْلٍ وَذَكْوَانَ وَعُصَيَّةَ وَبَنِي لَحْيَانَ. زَادَ خَلِيفَةُ حَدَّثَنَا ابْنُ زُرَيْعٍ، حَدَّثَنَا سَعِيدٌ، عَنْ قَتَادَةَ، حَدَّثَنَا أَنَسٌ، أَنَّ أُولَئِكَ السَّبْعِينَ، مِنَ الأَنْصَارِ قُتِلُوا بِبِئْرِ مَعُونَةَ، قُرْآنًا كِتَابًا. نَحْوَهُ.

訳：

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は言いました：**リウル族、ザクワーン族、ウサイヤ族、リフヤーン族が、敵に対抗するためにアッラーの使徒 ﷺ に援助を求めました。預言者は、当時私たちがクッラー（クルアーン読誦者）と呼んでいたアンサールの七十人を彼らに与えられました。彼らは昼は薪を集め、夜は礼拝していました。**彼らはマウーナの井戸に着くと、裏切られて殺されました。その知らせが預言者 ﷺ に届くと、預言者は一か月の間、夜明けの礼拝でクヌートを行い、リウル、ザクワーン、ウサイヤ、リ

フヤーンのアラブ部族に災いを祈られました。アナスは言いました：**私たちは彼らについて啓示されたクルアーンの一節を読んでいましたが、後に廃止されました。「私たちの民に伝えてください。私たちは主に会い、主は私たちに満足され、私たちを満足させてくださった、と。」**

伝承経路： イマーム・ブハーリーは二つの経路で伝えている：アブドゥ・アル＝アアラー・ブン・ハンマード ← ヤズィード・ブン・ズライウ ← サイード（・ブン・アビー・アルーバ） ← カターダ ← アナス・ブン・マーリク；そして ハリーファ（・ブン・ハイヤート） ← イブン・ズライウ ← サイード ← カターダ ← アナス رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ラジーウ、リウル、ザクワーン、マウーナの井戸の戦いの章、ハディース第 4090 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4090

クッラーとは誰か？

彼らは**アンサールの七十人**で、クルアーンの暗記者であり読誦者でした。アナスは彼らをこう描いています。**昼は薪を集め**（別の伝承によれば、それを売ってスッファの人々の食べ物を買うため）、**夜は礼拝していた**。彼らはイスラーム第一世代の**学者たち**だったのです。

天に上げられたアーミル・ブン・フハイラ

マウーナの井戸の殉教者の中に、**アーミル・ブン・フハイラ** رضى الله عنه がいました。彼はアブー・バクルの元奴隷で、アッラーの使徒 ﷺ とアブー・バクルがサウルの洞窟に隠れていたときに羊を放牧し、その後マディーナへのヒジュラに同行した人です（第 7 巻）。アーイシャ رضى الله عنها は長いハディースの中で、**アーミル・ブン・フハイラはマウーナの井戸の日に殉教した**と述べています。

ウルワの伝承によれば、敵の長**アーミル・ブン・アッ＝トゥファイル**が殺された者の一人を指さし、捕虜となったアムル・ブン・ウマイヤに「これは誰か」と尋ねました。アムルは「これはアーミル・ブン・フハイラだ」と答えました。アーミル・ブン・アッ＝トゥファイルは言いました：**「彼が殺された後、天に上げられるのを見た。天が彼と地の間にあるのが見えるほどだった。それから彼は下ろされた。」**そしてアッラーの使徒 ﷺ は教友たちに告げられました。「あなたたちの仲間は殺された。彼らは主に願った。『主よ、私たちの兄弟たちに伝えてください。私たちはあなたに満足し、あなたは私たちに満足されたと。』」（『サヒーフ・ブハーリー』4093）。

かつてヒジュラの際にアッラーの使徒 ﷺ を守るために羊を放牧した元奴隷が、今や敵自身が目撃するかたちでアッラーに尊ばれたのです。アッラーのもとでの尊さは、家柄では測られません。

一日で七十人のクッラーを失ったこと、それはウフドの殉教者の数と同じでした。アッラーの使徒 ﷺ にとって最も重い災難の一つでした。教訓：**知識と宣教**には代償があります。最初の宣教者たちは、命をもってそれを支払ったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「カアバの主にかけて、私は勝利した！」

マウーナの井戸の一行の長は、アナスのおじ**ハラーム・ブン・ミルハーン**を送り、アッラーの使徒 ﷺ の手紙を**アーミル・ブン・アッ＝トゥファイル**に届けさせました。ハラームが彼らと話している最中、彼らが一人の男に合図し、その男が背後から彼を突き刺しました：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4092 番

حَدَّثَنِي حِبَّانُ، أَخْبَرَنَا عَبْدُ اللَّهِ، أَخْبَرَنَا مَعْمَرٌ، قَالَ حَدَّثَنِي ثُمَامَةُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ أَنَسٍ، أَنَّهُ سَمِعَ أَنَسَ بْنَ مَالِكٍ ـ رضى الله عنه ـ يَقُولُ لَمَّا طُعِنَ حَرَامُ بْنُ مِلْحَانَ ـ وَكَانَ خَالَهُ ـ يَوْمَ بِئْرِ مَعُونَةَ قَالَ بِالدَّمِ هَكَذَا، فَنَضَحَهُ عَلَى وَجْهِهِ وَرَأْسِهِ، ثُمَّ قَالَ فُزْتُ وَرَبِّ الْكَعْبَةِ.

訳：

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は伝えています。**彼のおじハラーム・ブン・ミルハーンがマウーナの井戸の日に突き刺されたとき、彼はその血を手に受けて顔と頭に振りかけ、こう言いました。「カアバの主にかけて、私は勝利した！」**

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ヒッバーン（・ブン・ムーサー）← アブドゥッラー（・ブン・アル＝ムバーラク）← マアマル ← スマーマ・ブン・アブドゥッラー・ブン・アナス ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ハディース第 4092 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4092

アナスは別のハディースで、ハラームが「アッラーフ・アクバル！カアバの主にかけて、私は勝利した！」と言ったと伝えています。その後、彼らは丘の上にいた足の不自由な一人の男を除いて、一行全員を殺しました（『サヒーフ・ブハーリー』4091）。

スィーラの注：イスラームに入った殺害者

スィーラ書によれば、ハラームを突き刺した男**ジャッバール・ブン・スルマー**は、死にゆく者から「私は勝利した」という言葉を聞いてひどく驚きました。その意味を尋ね、それが天国を得る勝利を意味すると教えられると、彼の心は動かされ、**後にイスラームに入りました。**

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

教訓：信仰者にとって、アッラーの道での死は敗北ではなく**勝利**です。真の成功の尺度は、この世での無事ではなく、アッラーのご満足です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

災難時のクヌート

マウーナの井戸に対するアッラーの使徒 ﷺ の悲しみは、非常に深いものでした。アナス رضي الله عنه は言いました：「**預言者 ﷺ は一か月の間クヌートを行い、リウルとザクワーンに災いを祈られた。**」（『サヒーフ・ブハーリー』1003）。別の伝承でアナスは言いました：「**それがクヌートの始まりだった。それ以前、私たちはクヌートをしていなかった。**」（『サヒーフ・ブハーリー』4088）。

項目	説明
名前	クヌート・ナーズィラ：ウンマに大きな災難が降りかかったときのクヌート。
時	義務の礼拝、特に夜明けの礼拝で、最後のラクアのルクーウの後。
期間	アッラーの使徒 ﷺ は一か月間それを行われた（ブハーリー 1003、4090）。
祈りの内容	不当に扱われた人々のために祈り、起こった不正を述べる。

学者たちはこのハディースを**クヌート・ナーズィラ**の根拠としています。戦争、迫害、疫病など、ムスリムに大きな災難が降りかかったときに礼拝の中でささげる祈りです。どこかの地でムスリムが迫害されると、今日でも多くのモスクで行われています。

教訓：ウンマの悲しみは**礼拝**の中へと持ち込まれます。アッラーの使徒 ﷺ はただ悲しむだけでなく、一か月の間、絶え間なく祈り続けられました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

「私たちの民に伝えてください」

アナスのハディース（第6章）には、驚くべきことが述べられています。アッラーはマウーナの井戸の殉教者たちについて**クルアーンの一節**を啓示され、教友たちはしばらくそれを読誦していましたが、後に**その読誦が廃止された**のです：**「私たちの民に伝えてください。私たちは主に会い、主は私たちに満足され、私たちを満足させてくださった、と。」**（『サヒーフ・ブハーリー』2801、4095）。

その文言はもはやクルアーンとして読誦されませんが、**その意味は**、殉教者についての他の節の中に生き続けています。アッラーは仰せられます：

「アッラーがその恩恵として与えられたものに歓喜している」『タフスィール・イブン・カスィール』3:170。

廃止（ナスフ）の種類	例
読誦が廃止され、意味は残る	「私たちの民に伝えてください……」（ブハーリー 2801）
規定が廃止され、読誦は残る	酒の規定の初期段階（2:219；4:43）— 第 10 章
両方とも残る	クルアーンのほとんどの節

教訓：アッラーご自身が、殉教者たちの**挨拶をその民に伝えられました。**この世での悲しみは、永遠のご満足によって報われるのです。

酒の禁止

ウフドの後の重要な出来事の一つが、酒の**最終的な禁止**です。酒はアラブ社会に深く根付いていたため、アッラーはそれを**段階的に**禁じられました：

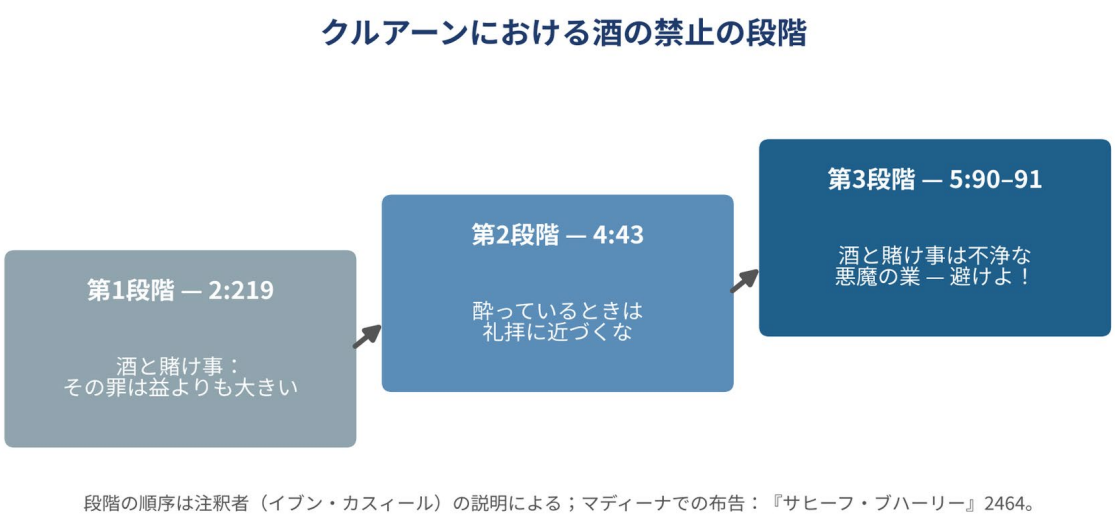


図 3：酒の禁止の段階。

「あなたがた信仰する者よ、誠に酒と賭矢、偶像と占い矢は、忌み嫌われる悪魔の業である。これを避けなさい。恐らくあなたがたは成功するであろう。」『タフスィール・イブン・カスィール』5:90。

教友たちはこの命令をどのように受け止めたのでしょうか。アブー・タルハの家で飲み物を注いでいたアナス رضى الله عنه が語っています：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2464 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ الرَّحِيمِ أَبُو يَحْيَى، أَخْبَرَنَا عَفَّانُ، حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، حَدَّثَنَا ثَابِتٌ، عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ كُنْتُ سَاقِيَ الْقَوْمِ فِي مَنْزِلِ أَبِي طَلْحَةَ، وَكَانَ خَمْرُهُمْ يَوْمَئِذٍ الْفَضِيخَ، فَأَمَرَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مُنَادِيًا يُنَادِي أَلاَ إِنَّ الْخَمْرَ قَدْ حُرِّمَتْ. قَالَ فَقَالَ لِي أَبُو طَلْحَةَ اخْرُجْ فَأَهْرِقْهَا، فَخَرَجْتُ فَهَرَقْتُهَا، فَجَرَتْ فِي سِكَكِ الْمَدِينَةِ فَقَالَ بَعْضُ الْقَوْمِ قَدْ قُتِلَ قَوْمٌ وَهْىَ فِي بُطُونِهِمْ. فَأَنْزَلَ اللَّهُ {لَيْسَ عَلَى الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ جُنَاحٌ فِيمَا طَعِمُوا} الآيَةَ.

訳：

アナス رضى الله عنه は言いました：**私はアブー・タルハの家で人々に飲み物を注いでいました。当時の彼らの飲み物はナツメヤシから作られたものでした。アッラーの使徒 ﷺ は触れ役に命じて告げさせました。「知れ、酒は禁じられた。」** アブー・タルハは私に「外へ出てそれを流してしまえ」と言いました。私は外に出てそれを流しました。**するとそれはマディーナの路地を流れていきました。**ある人々は言いました。「酒がまだ腹の中にあるうちに殺された人々がいる。」するとアッラーは啓示されました：**「信仰して善行に勤しむ者には、以前に食べたものについて罪はない.....」**（食卓章 5:93）。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アブドゥ・アッ＝ラヒーム・アブー・ヤフヤー ← アッファーン ← ハンマード・ブン・ザイド ← サービト（・アル＝ブナーニー） ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』不正の書、道に酒を流す章、ハディース第 2464 番；第 4620 番にも。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:2464

マディーナの路地を流れた酒

「本当か？」とも「先に飲み干してもよいか？」とも、誰一人尋ねませんでした。布告が聞こえるやいなや酒の器は**すぐに流され**、酒はマディーナの路地を流れていきました。これこそ**サミウナー・ワ・アタウナー**、「私たちは聞き、そして従います」です。

このハディースはまた、禁止が**ウフドの後**であったことを示しています。酒が腹の中にあるままウフドで殉教した教友たちがいましたが、アッラーは彼らに罪がないことを明らかにされました（食卓章 5:93）。規定は、啓示される前には適用されないのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

現代の健康研究における酒

クルアーンは、酒の罪は「**その益よりも大きい**」と述べています（雌牛章 2:219）。現代の健康研究はこの警告を裏付けています。世界保健機関（WHO）は 2023 年、健康にとって**安全なアルコール摂取量は存在しない**こと、アルコールは長らく**グループ 1 の発がん性物質**に分類されてきたこと、そして**少なくとも 7 種類のがん**を引き起こすことを述べました（WHO 欧州、2023 年）。

WHO のデータ（2019 年）	数値
アルコールによる年間死亡者数	260 万人（全死亡の 4.7%）
アルコール関連のがんによる死亡	40 万 1 千人
負傷（事故、暴力）による死亡	72 万 4 千人

出典：WHO、2024 年 6 月 25 日。これらの数値が集められる十四世紀以上も前に、クルアーンは酒を、**敵意と憎しみ**を生む「**悪魔の業**」と呼んでいました（食卓章 5:91）。そして暴力による負傷は、今日でもその最大の害の一つなのです。

教訓：社会の変革には**英知と段階**が必要です。しかしアッラーの命令が明らかになれば、信仰者はためらうことなく直ちに従います。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ナディール族の裏切りの企て

ナディール族はマディーナの大きなユダヤ部族の一つで、ムスリムと和平の盟約を結んでいました（第8巻）。マウーナの井戸の後、彼らの意図をあらわにする出来事が起こりました。

スィーラの注：落とされかけた石

スィーラ書によれば、マウーナの井戸の生存者の一人**アムル・ブン・ウマイヤ・アッ＝ダムリー**が、アッラーの使徒 ﷺ の保護下にあることを知らずに、アーミル族の男二人を殺してしまいました。預言者は**ディヤ**（血の代償金）を支払う必要があり、盟約に従って分担を求めるため、ナディール族のもとへ赴かれました。

ナディール族は表向きは歓迎しましたが、ひそかに、壁にもたれて座っていた預言者の上に、壁の上から**大きな石を落とそう**と企てました。ジブリールがその企てを告げると、預言者は立ち上がり、急いでマディーナへ戻られました。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』ナディール族の章；『タフスィール・イブン・カスィール』5:11。https://tafsir.app/ibn-katheer/5/11

イブン・カスィールは、この出来事を次の節の啓示の背景の一つとして挙げています：「**ある民があなたがたに手を伸ばそうとした時、アッラーはかれらの手をあなたがたから押し止められた。あなたがたへのアッラーの恩恵を念じなさい**」『タフスィール・イブン・カスィール』5:11。

教訓：盟約は信託（アマーナ）です。アッラーの使徒 ﷺ は**盟約を果たすために**ナディール族のもとへ来られましたが、彼らは暗殺の企てによって**それを裏切った**のです。アッラーはご自身の使徒を守られました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

包囲と追放

アッラーの使徒 ﷺ はナディール族に、マディーナを去る選択肢を与えられました。彼らは自分たちの**砦**と偽信者たちの援助の約束を頼みにして、拒みました。そこでムスリムは彼らを包囲しました。イブン・ウマル رضى الله عنهما がその結末を伝えています：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 4028 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ نَصْرٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، أَخْبَرَنَا ابْنُ جُرَيْجٍ، عَنْ مُوسَى بْنِ عُقْبَةَ، عَنْ نَافِعٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ حَارَبَتِ النَّضِيرُ وَقُرَيْظَةُ، فَأَجْلَى بَنِي النَّضِيرِ، وَأَقَرَّ قُرَيْظَةَ وَمَنَّ عَلَيْهِمْ، حَتَّى حَارَبَتْ قُرَيْظَةُ فَقَتَلَ رِجَالَهُمْ وَقَسَمَ نِسَاءَهُمْ وَأَوْلاَدَهُمْ وَأَمْوَالَهُمْ بَيْنَ الْمُسْلِمِينَ إِلاَّ بَعْضَهُمْ لَحِقُوا بِالنَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فَآمَنَهُمْ وَأَسْلَمُوا، وَأَجْلَى يَهُودَ الْمَدِينَةِ كُلَّهُمْ بَنِي قَيْنُقَاعَ وَهُمْ رَهْطُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ سَلاَمٍ وَيَهُودَ بَنِي حَارِثَةَ، وَكُلَّ يَهُودِ الْمَدِينَةِ.

訳：

イブン・ウマル رضى الله عنهما は言いました：**ナディール族とクライザ族は（盟約を破ってアッラーの使徒 ﷺ と）戦いました。そこで預言者はナディール族を追放し、クライザ族には留まることを許して、彼らから何も取りませんでした。**やがて彼ら（クライザ族）が再び戦うまでは……。その後、預言者はマディーナのユダヤ人全員を追放されました。アブドゥッラー・ブン・サラームの部族であるカイヌカー族、ハーリサ族のユダヤ人、そしてマディーナのすべてのユダヤ人です。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・ナスル ← アブドゥ・アッ＝ラッザーク ← イブン・ジュライジュ ← ムーサー・ブン・ウクバ ← ナーフィウ ← イブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ナディール族の話の章、ハディース第 4028 番。訳文の中間部は要約。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4028

アッラーはその出来事をこう描かれます：「**かれこそは、啓典の民の中の不信心な者たちを、最初の集結の際にその住まいから追放された方である**」『タフスィール・イブン・カスィール』59:2。

スィーラの注：ラクダの荷を背に去る

スィーラ書によれば、包囲は約**六夜**続きました（十五日間とする伝承もあります）。最終的にナディール族は、**命の安全**を条件に、ラクダに積めるものは**武器を除いて**持ち出してよいという条件で退去に同意しました。一部は**ハイバル**へ、一部はシャームへ去りました。

クルアーンは、彼らが**自らの手で家を壊した**と述べています（59:2）。ムスリムに残さないよう、戸や木材を外して持ち去ったのです。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』；Wikipedia「Banu Nadir」。https://en.wikipedia.org/wiki/Banu_Nadir

教訓：堅固な砦も、アッラーの定めから守ることはできません。彼らは**自分たちの砦**が救ってくれると思っていましたが、アッラーは**思いもよらない方向から**罰をもたらされました。

ナディール族のナツメヤシ

包囲の間、ある行為が疑問を呼びました。ナディール族の**ナツメヤシの木々**が切り倒され、焼かれたのです。イブン・ウマル رضى الله عنهما が伝えています：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4031 番

حَدَّثَنَا آدَمُ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، عَنْ نَافِعٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ حَرَّقَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم نَخْلَ بَنِي النَّضِيرِ وَقَطَعَ وَهْىَ الْبُوَيْرَةُ فَنَزَلَتْ {مَا قَطَعْتُمْ مِنْ لِينَةٍ أَوْ تَرَكْتُمُوهَا قَائِمَةً عَلَى أُصُولِهَا فَبِإِذْنِ اللَّهِ}

訳：

イブン・ウマル رضى الله عنهما は言いました：**アッラーの使徒 ﷺ は、ブワイラにあったナディール族のナツメヤシを焼き、切り倒されました。そこで次の節が啓示されました。「あなたがたがナツメヤシの木を切り倒しても、根元に立ったまま残しておいても、それはアッラーの許しによるものである。」**（集合章 59:5）。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アーダム（・ブン・アビー・イヤース） ← アッ＝ライス ← ナーフィウ ← イブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ナディール族の話の章、ハディース第 4031 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4031

「あなたがたが、ナツメヤシの木を切り倒しても、またその根の上に立たせて置いても、それはアッラーの御許しによるもので、アッラーの掟に背く者たちを卑しめられるためである。」『タフスィール・イブン・カスィール』59:5。

通常、イスラームは戦争において木や作物を損なうことを**禁じています**。アブー・バクルは軍に、実のなる木を切り倒さないよう命じました（『ムワッタア・マーリク』）。しかしここでは、軍事上の必要からアッラーがそれを許されました。果樹園と砦の陰に立てこもる敵を、より大きな流血なしに降伏させるためです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版

ユダヤ人たちは非難しました。「ムハンマドよ、お前は破壊を禁じているのに、なぜ木を切り倒すのか。」（『タフスィール・イブン・カスィール』59:5）。この節は、切り倒すことも残すことも、どちらもアッラーの許しによるものだと答えています。教訓：原則は**守ること**であり、例外は**聖法の許し**によってのみ認められます。

イスラームにおける戦いの作法

ナディール族のナツメヤシの出来事は、啓示によって許された**例外**です。イスラームにおける戦いの原則は厳しい作法に縛られており、それはアッラーの使徒 ﷺ ご自身が教えられたものです：

作法	根拠
女性と子どもを殺さない	殺された女性を見て、預言者はそれを禁じられた（ブハーリー 3015）
約束を裏切らない	「約束を裏切ってはならない」（ムスリム 1731）
遺体を損なわない	「（遺体を）損なってはならない」（ムスリム 1731）
戦利品を盗まない	「戦利品を不正に取ってはならない」（ムスリム 1731）
まずイスラームへ招く	各部隊の長への預言者の訓戒（ムスリム 1731）

ブライダのハディース（『サヒーフ・ムスリム』1731）によれば、アッラーの使徒 ﷺ は部隊の長を任命するたびに、**アッラーを畏れ**、同行するムスリムに善く接するよう命じ、その後にこれらの作法を述べられました。イスラームの戦いは無制限ではなく、**畏敬と公正**に縛られているのです。

偽信者たちの偽りの約束

ナディール族が退去を拒むほど強気だったのは、**アブドゥッラー・ブン・ウバイ**と偽信者たちが援助を約束していたからです。スィーラ書によれば、イブン・ウバイは二千人で助けると約束しました。アッラーはその約束を暴かれました：

「あなたは、偽信者たちが啓典の民の中の不信心な仲間に言うのを見なかったのか。「もしあなたがたが追放されるなら、わたしたちは一緒に出て行くであろう。あなたがたのことに関しては、誰にも決して従わないであろう。またあなたがたがもし攻撃されるならば、わたしたちは必ず助けるであろう。」だがアッラーは、かれらが真に虚言の徒であることを立証なされる。」『タフスィール・イブン・カスィール』59:11。

アッラーは実際に何が起こるかを明らかにされました：**「もしかれらが追放されても、（偽信者たちは）決して一緒に出て行かないであろう」**『タフスィール・イブン・カスィール』59:12。

偽信者たちの約束	現実
「お前たちが追放されれば、我々も一緒に出て行く」	一緒に出て行った者は一人もいなかった。
「お前たちが攻められれば、我々が助ける」	包囲の間、援助は一度も来なかった。

教訓：**偽信者の約束**を頼りにしてはなりません。彼らは安全なときには大胆に約束しますが、試練が来ると逃げ出します。クルアーンはこのことを起こる前に明らかにし、啓示の真実の証としたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ファイ（戦わずに得た財）

ナディール族は**戦闘なしに**退去したため、彼らが残した財産は通常のガニーマ（戦利品）ではなく、**ファイ**でした。ウマル رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がそれをどう用いられたかを説明しています：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2904 番

حَدَّثَنَا عَلِيُّ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنْ عَمْرٍو، عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ مَالِكِ بْنِ أَوْسِ بْنِ الْحَدَثَانِ، عَنْ عُمَرَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ كَانَتْ أَمْوَالُ بَنِي النَّضِيرِ مِمَّا أَفَاءَ اللَّهُ عَلَى رَسُولِهِ صلى الله عليه وسلم مِمَّا لَمْ يُوجِفِ الْمُسْلِمُونَ عَلَيْهِ بِخَيْلٍ وَلاَ رِكَابٍ، فَكَانَتْ لِرَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم خَاصَّةً، وَكَانَ يُنْفِقُ عَلَى أَهْلِهِ نَفَقَةَ سَنَتِهِ، ثُمَّ يَجْعَلُ مَا بَقِيَ فِي السِّلاَحِ وَالْكُرَاعِ، عُدَّةً فِي سَبِيلِ اللَّهِ.

訳：

ウマル رضى الله عنه は言いました：**ナディール族の財産は、アッラーがその使徒に授けられたファイで、ムスリムが馬やラクダを駆って得たものではありませんでした。それゆえそれはアッラーの使徒 ﷺ に特有のものでした。預言者は家族に一年分の生活費を与え、残りを、アッラーの道に備える武器と馬に充てられました。**

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アリー・ブン・アブドゥッラー（・アル＝マディーニー）← スフヤーン（・ブン・ウヤイナ）← アムル（・ブン・ディーナール）← アッ＝ズフリー ← マーリク・ブン・アウス・ブン・アル＝ハダサーン ← ウマル・ブン・アル＝ハッターブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、ハディース第 2904 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:2904

アッラーはファイの分配の英知を定められました：「**それは、あなたがたの中の富裕な者たちの間だけで（財が）回らないようにするためである**」『タフスィール・イブン・カスィール』59:7。

ガニーマ（戦利品）	ファイ
戦闘によって得たもの	戦闘なしに得たもの
五分の四は戦士へ（8:41）	アッラーの使徒 ﷺ が公益のために管理（59:7）
例：バドル	例：ナディール族

スィーラ書によれば、アッラーの使徒 ﷺ はナディール族の土地の大部分を、貧しい**ムハージルーン（移住者）**に分け与えられました。彼らがもはやアンサールに頼らずにすむようにするためです。教訓：イスラームは**財が巡り**、富裕な者だけに集中しないよう定めています。初めから公正な経済の原則だったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

集合章（スーラ・アル＝ハシュル）

ナディール族の出来事の全体は、**集合章**（第 59 章）に刻まれています。サイード・ブン・ジュバイルは言いました。私がイブン・アッバースに集合章のことを話すと、彼は言いました：「**それはナディール族の章と呼びなさい。**」（『サヒーフ・ブハーリー』4029）。

節	目次
59:1–5	ナディール族の追放；ナツメヤシ
59:6–10	ファイの財；ムハージルーン、アンサール、そして後の世代
59:11–17	偽信者たちの偽りの約束；悪魔のたとえ
59:18–20	畏敬への呼びかけと、明日への備えを省みること
59:21–24	クルアーンの偉大さとアッラーの美しい御名

この章は、非常に荘厳な節で締めくくられます：「**もしわれがこのクルアーンを山に下したならば、あなたはそれがアッラーを畏れて謙虚になり、裂け砕けるのを見るであろう**」『タフスィール・イブン・カスィール』59:21。

教訓：アッラーは一つの歴史的出来事を**永遠の教訓**とされました。裏切り、偽信、財の公正、そして畏敬についての教訓です。だからこそ 59:2 の節は次の呼びかけで結ばれているのです：「**だから目のある者たちよ、教訓とせよ。**」

ウンム・サラマと災難の祈り

ウンム・サラマの夫アブー・サラマは、ウフドの傷が再び出血して亡くなりました（第1章）。ウンム・サラマ رضى الله عنها は深く愛していた夫を失い、幼い子どもたちを抱えていました。彼女は、一つの祈りが人生をどう変えたかを語っています：

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 918 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ جَمِيعًا عَنْ إِسْمَاعِيلَ بْنِ جَعْفَرٍ، - قَالَ ابْنُ أَيُّوبَ حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - أَخْبَرَنِي سَعْدُ بْنُ سَعِيدٍ، عَنْ عُمَرَ بْنِ كَثِيرِ بْنِ أَفْلَحَ، عَنِ ابْنِ، سَفِينَةَ عَنْ أُمِّ سَلَمَةَ، أَنَّهَا قَالَتْ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ مَا مِنْ مُسْلِمٍ تُصِيبُهُ مُصِيبَةٌ فَيَقُولُ مَا أَمَرَهُ اللَّهُ إِنَّا لِلَّهِ وَإِنَّا إِلَيْهِ رَاجِعُونَ اللَّهُمَّ أْجُرْنِي فِي مُصِيبَتِي وَأَخْلِفْ لِي خَيْرًا مِنْهَا. إِلاَّ أَخْلَفَ اللَّهُ لَهُ خَيْرًا مِنْهَا. قَالَتْ فَلَمَّا مَاتَ أَبُو سَلَمَةَ قُلْتُ أَىُّ الْمُسْلِمِينَ خَيْرٌ مِنْ أَبِي سَلَمَةَ أَوَّلُ بَيْتٍ هَاجَرَ إِلَى رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم. ثُمَّ إِنِّي قُلْتُهَا فَأَخْلَفَ اللَّهُ لِي رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم. قَالَتْ أَرْسَلَ إِلَىَّ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم حَاطِبَ بْنَ أَبِي بَلْتَعَةَ يَخْطُبُنِي لَهُ فَقُلْتُ إِنَّ لِي بِنْتًا وَأَنَا غَيُورٌ. فَقَالَ أَمَّا ابْنَتُهَا فَنَدْعُو اللَّهَ أَنْ يُغْنِيَهَا عَنْهَا وَأَدْعُو اللَّهَ أَنْ يَذْهَبَ بِالْغَيْرَةِ.

訳：

ウンム・サラマ رضى الله عنها は言いました。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞きました：「**災難に見舞われたムスリムが、アッラーの命じられた言葉『インナー・リッラーヒ・ワ・インナー・イライヒ・ラージウーン。アッラーフンマ・アジュルニー・フィー・ムスィーバティー・ワ・アフリフ・リー・ハイラン・ミンハー』（まことに私たちはアッラーのものであり、彼のもとに帰る者です。アッラーよ、私の災難において報いを与え、それよりも良いものを代わりにお与えください）を唱えるなら、アッラーは必ずより良いものを代わりにお与えになる。**」アブー・サラマが亡くなったとき、私は言いました：「**ムスリムの中で、アブー・サラマより良い人がいるでしょうか。アッラーの使徒 ﷺ のもとへ最初に移住した家族なのに。**」それでも私はその言葉を唱えました。**するとアッラーは、アッラーの使徒 ﷺ を私の代わりとしてお与えくださいまし**

た。 アッラーの使徒 ﷺ はハーティブ・ブン・アビー・バルタアを遣わして私に求婚されました。私は言いました。「私には娘がいますし、私はとても嫉妬深い女です。」預言者は言われました。「娘については、アッラーが彼女を満たしてくださるよう祈ろう。そしてあなたの嫉妬がなくなるよう、私はアッラーに祈ろう。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ、イブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← サアド・ブン・サイード ← ウマル・ブン・カスィール・ブン・アフラフ ← イブン・サフィーナ ← ウンム・サラマ رضي الله عنها。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』葬儀の書、災難の時に唱える言葉の章、ハディース第 918 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:918a

その祈りはクルアーンの節から始まります：「**本当にわたしたちは、アッラーのもの。かれの御許にわたしたちは帰ります**」『タフスィール・イブン・カスィール』2:156。

「アブー・サラマより良い人がいるでしょうか？」

ウンム・サラマは自分の気持ちに正直でした。夫より良い人を想像できなかったのです。それでも彼女は、アッラーの使徒 ***mengamalkan doa*** が教えた祈りを実践しました。そしてアッラーは、**アッラーの使徒 ﷺ ご自身**を代わりとしてお与えになったのです。スィーラ書によれば、その結婚はヒジュラ暦 4 年シャウワール月のことでした。

ウンム・サラマはその後、**信仰者たちの母（ウンマハート・アル＝ムウミニーン）**の中でも最も聡明な一人となりました。彼女の意見は、後にフダイビヤでの大きな危機を解決することになります。また彼女は預言者の妻たちの中で最後に亡くなった人でした。教訓：災難の時の祈りは単なる言葉ではなく、アッラーがより良いもので代えてくださるという**確信**なのです。

ザイド・ブン・サービト、ユダヤ文字を学ぶ

この時期、アッラーの使徒 ﷺ は、聡明なアンサールの若者**ザイド・ブン・サービト** رضي الله عنه に一つの任務を与えられました。ザイドは言いました：「**アッラーの使徒 ﷺ は私にユダヤの文字を学ぶよう命じ、『アッラーにかけて、私は自分の書簡についてユダヤ人を信用していない』と言われました。半月も経たないうちに、私はそれを習得しました。預言者が彼らに書簡を送るときは私が書き、彼らが預言者に書簡を送ってくると私が読み上げました。**」（『スナン・アビー・ダーウード』3645、ハサン・サヒーフと評価；『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2715 にも）。

ザイド・ブン・サービトの役割	説明
翻訳者・書簡の書記	半月でユダヤ文字を習得（アブー・ダーウード 3645）
啓示の書記	アッラーの使徒 ﷺ の啓示の書記の一人（ブハーリー 4986）
クルアーンの編纂者	アブー・バクルからクルアーンの編纂を託された（ブハーリー 4986）

後にアブー・バクルは、**クルアーンを集める**役目にザイドを選び、こう言いました。「あなたは聡明な若者で、私たちはあなたの誠実さを疑っていない。そしてあなたはかつてアッラーの使徒 ﷺ のために啓示を書き記していた。」（『サヒーフ・ブハーリー』4986）。

教訓：アッラーの使徒 ﷺ は**若者の知識と才能に投資されました。**言語と新しい技能を身につけることはウンマの力の一部です。そしてその能力が、後にウンマ全体のためにクルアーンを守ることになったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ザート・アッ＝リカーウ

アッラーの使徒 ﷺ はまた、攻撃のために集結していたガタファーンの諸部族（ムハーリブ族とサアラバ族）に立ち向かうため、**ナジュド**の方面へ出陣されました。その道のりは非常に過酷でした。アブー・ムーサー・アル＝アシュアリー رضي الله عنه はこう語っています：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4128 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ الْعَلاَءِ، حَدَّثَنَا أَبُو أُسَامَةَ، عَنْ بُرَيْدِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ أَبِي بُرْدَةَ، عَنْ أَبِي بُرْدَةَ، عَنْ أَبِي مُوسَى ـ رضى الله عنه ـ قَالَ خَرَجْنَا مَعَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فِي غَزَاةٍ وَنَحْنُ سِتَّةُ نَفَرٍ بَيْنَنَا بَعِيرٌ نَعْتَقِبُهُ، فَنَقِبَتْ أَقْدَامُنَا وَنَقِبَتْ قَدَمَاىَ وَسَقَطَتْ أَظْفَارِي، وَكُنَّا نُلَفُّ عَلَى أَرْجُلِنَا الْخِرَقَ، فَسُمِّيَتْ غَزْوَةَ ذَاتِ الرِّقَاعِ، لِمَا كُنَّا نَعْصِبُ مِنَ الْخِرَقِ عَلَى أَرْجُلِنَا، وَحَدَّثَ أَبُو مُوسَى بِهَذَا، ثُمَّ كَرِهَ ذَاكَ، قَالَ مَا كُنْتُ أَصْنَعُ بِأَنْ أَذْكُرَهُ. كَأَنَّهُ كَرِهَ أَنْ يَكُونَ شَيْءٌ مِنْ عَمَلِهِ أَفْشَاهُ.

訳：

アブー・ムーサー رضي الله عنه は言いました：**私たちは預言者 ﷺ とともにある遠征に出ました。六人で一頭のラクダを分け合い、交代で乗っていました。私たちの足は薄くなって傷つき、私の足も傷ついて爪がはがれました。私たちは布切れで足を巻いたので、その遠征はザート・アッ＝リカーウ（布切れの遠征）と名づけられました。足に布を巻いたからです。** アブー・ムーサーはこのハディースを語ると後悔し、「なぜ私はこれを話してしまったのか」と言いました。自分の行いを人に明かすのを嫌ったかのようでした。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アル＝アラー ← アブー・ウサーマ ← ブライド・ブン・アブドゥッラー・ブン・アビー・ブルダ ← アブー・ブルダ ← アブー・ムーサー・アル＝アシュアリー رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ザート・アッ＝リカーウの戦いの章、ハディース第 4128 番。

等級： サヒーフ（真正）—『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4128

スィーラの注：ザート・アッ＝リカーウはいつか？

イブン・イスハークはこの遠征を、ナディール族の後の**ヒジュラ暦 4 年**としています。しかし**イマーム・ブハーリー**は、それが**ハイバルの後**（ヒジュラ暦 7 年）に起こったと考えました。参加したアブー・ムーサー・アル＝アシュアリーがマディーナに来たのはハイバルの後だったからです。イブン・ハジャルは『ファトフ・アル＝バーリー』でこの相違を論じています。

本書はスィーラ書の順序に従ってここで取り上げ、ブハーリーの見解も記しています。アッラーこそが最もよくご存じです。

参照：

『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ザート・アッ＝リカーウの戦いの章；イブン・ハジャル『ファトフ・アル＝バーリー』。https://sunnah.com/bukhari:4125

アブー・ムーサーの態度に注目してください。自分の苦労を語ったことを**後悔した**のは、行いの誠実さが損なわれるのを恐れたからです。教訓：教友たちは大きな困難の中で奮闘しましたが、行いがアッラーのための誠実なものであり続けるよう、**自分の善行を隠した**のです。

「誰がお前を救えるのか？」

ナジュドからの帰り道、アッラーの使徒 **tawakal** の完全なアッラーへの信頼（タワックル）を示す出来事が起こりました。ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما はこう語っています：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2910 番

حَدَّثَنَا أَبُو الْيَمَانِ، أَخْبَرَنَا شُعَيْبٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ حَدَّثَنِي سِنَانُ بْنُ أَبِي سِنَانٍ الدُّؤَلِيُّ، وَأَبُو سَلَمَةَ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ أَنَّ جَابِرَ بْنَ عَبْدِ اللَّهِ - رضى الله عنهما - أَخْبَرَ أَنَّهُ، غَزَا مَعَ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قِبَلَ نَجْدٍ، فَلَمَّا قَفَلَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَفَلَ مَعَهُ، فَأَدْرَكَتْهُمُ الْقَائِلَةُ فِي وَادٍ كَثِيرِ الْعِضَاهِ، فَنَزَلَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَتَفَرَّقَ النَّاسُ يَسْتَظِلُّونَ بِالشَّجَرِ، فَنَزَلَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم تَحْتَ سَمُرَةٍ وَعَلَّقَ بِهَا سَيْفَهُ وَنِمْنَا نَوْمَةً، فَإِذَا رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَدْعُونَا وَإِذَا عِنْدَهُ أَعْرَابِيٌّ فَقَالَ إِنَّ هَذَا اخْتَرَطَ عَلَىَّ سَيْفِي وَأَنَا نَائِمٌ، فَاسْتَيْقَظْتُ وَهْوَ فِي يَدِهِ صَلْتًا. فَقَالَ مَنْ يَمْنَعُكَ مِنِّي فَقُلْتُ اللَّهُ. ثَلاَثًا وَلَمْ يُعَاقِبْهُ وَجَلَسَ.

訳：

ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما は、**アッラーの使徒 ﷺ とともにナジュドの方面へ遠征に出たと言いました。帰る途中、棘のある木の多い谷にいるとき、昼の暑い時刻となりました。アッラーの使徒 ﷺ と人々は休憩し、日陰を求めて散らばりました。アッラーの使徒 ﷺ は一本の木の下で休み、剣をその木に掛けられました。** 私たちが眠っていると、突然アッラーの使徒 ﷺ が私たちを呼ばれました。そのそばには一人のベドウィンがいました。預言者は言われました：**「この男は、私が眠っている間に私の剣を抜いた。私が目を覚ますと、剣は抜かれて彼の手にあった。彼は言った。『誰が私からお前を救えるのか？』私は答えた。『アッラーだ』と、三度。」 預言者は彼を罰されず**、彼は座り込みました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アル＝ヤマーン ← シュアイブ ← アッ＝ズフリー ← スィナーン・ブン・アビー・スィナーン・アッ＝ドゥアリー と アブ

ー・サラマ・ブン・アブドゥ・アッ＝ラフマーン ← ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、ハディース第 2910 番；第 4135〜4136 番にも。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:2910

「アッラーだ」

目を覚ましたばかりの預言者の頭上で、一人の男が抜き身の剣を握っていました。護衛は一人もいません。預言者の答えはただ一語、**「アッラーだ。」** 別の伝承では、その男は**ガウラス・ブン・アル＝ハーリス**と名指されています（『サヒーフ・ブハーリー』4136）。

さらに驚くべきことに、立場が逆転してその男が預言者の手中に落ちたとき、アッラーの使徒 ﷺ は**彼を罰されませんでした。**（『サヒーフ・ブハーリー』以外の）一部の伝承によれば、その男は自分の民のもとへ帰り、「私は最も優れた人のもとから来た」と言ったといいます。

教訓：真の**タワックル**とは、剣の切っ先にあってもアッラーとともに心が安らいでいることです。そして**赦し**は、弱い者ではなく強い者の品性なのです。

恐怖時の礼拝

敵の脅威のもとで、アッラーは**恐怖時の礼拝**（サラート・アル＝ハウフ）の方法を教えられました。戦場においても集団礼拝が捨てられないようにするためです。アッラーは仰せられます：

「あなたがかれら（信者）の中にあって、かれらと礼拝に立つ時は、（まず）かれらの一部をあなたと共に（礼拝に）立たせそしてかれらに武器を持たせなさい。かれらがサジダ（して第1のラカート「礼拝の単位」）を終えたならば、あなたがたの後ろに行かせ、それからまだ礼拝し ない他の一団に、あなたと共に礼拝（の第 2 のラカート）をさせ（て礼拝を終わり）、かれらに武器を持たせ警戒させなさい。不信者たちは、あなたがたが武器や行李をゆるがせにする隙に乗じ、一挙に飛びかかって襲おうと望んでいる。ただし雨にあい、またはあなたがたが病気の時、自分の武器をおいても罪はない。だが用心の上に用心しなさい。アッラーは不信者のために恥ずべき懲罰を備えられる。」『タフスィール・イブン・カスィール』4:102。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 942 番

حَدَّثَنَا أَبُو الْيَمَانِ، قَالَ أَخْبَرَنَا شُعَيْبٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ سَأَلْتُهُ هَلْ صَلَّى النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم يَعْنِي صَلاَةَ الْخَوْفِ قَالَ أَخْبَرَنِي سَالِمٌ أَنَّ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ غَزَوْتُ مَعَ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قِبَلَ نَجْدٍ، فَوَازَيْنَا الْعَدُوَّ فَصَافَفْنَا لَهُمْ فَقَامَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يُصَلِّي لَنَا فَقَامَتْ طَائِفَةٌ مَعَهُ تُصَلِّي، وَأَقْبَلَتْ طَائِفَةٌ عَلَى الْعَدُوِّ وَرَكَعَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بِمَنْ مَعَهُ، وَسَجَدَ سَجْدَتَيْنِ، ثُمَّ انْصَرَفُوا مَكَانَ الطَّائِفَةِ الَّتِي لَمْ تُصَلِّ، فَجَاءُوا، فَرَكَعَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بِهِمْ رَكْعَةً، وَسَجَدَ سَجْدَتَيْنِ ثُمَّ سَلَّمَ، فَقَامَ كُلُّ وَاحِدٍ مِنْهُمْ فَرَكَعَ لِنَفْسِهِ رَكْعَةً وَسَجَدَ سَجْدَتَيْنِ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما は言いました：**私はアッラーの使徒 ﷺ とともにナジュドの方面へ遠征しました。私たちは敵と向き合い、列を整えました。アッラ**

ーの使徒 ﷺ は立って礼拝を導かれ、一隊は預言者とともに礼拝し、もう一隊は敵に向かっていました。 アッラーの使徒 ﷺ は最初の一隊とともにルクーウし、二度サジダされました。それから彼らはまだ礼拝していない一隊の位置へ移り、その一隊がやって来て、預言者は彼らとともに一ラクアを礼拝し、ルクーウと二度のサジダをして、サラームで終えられました。その後、彼らの一人ひとりが立ち上がり、各自で一ラクアを完成させました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アル＝ヤマーン ← シュアイブ ← アッ＝ズフリー ← サーリム ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』恐怖時の礼拝の書、ハディース第 942 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:942

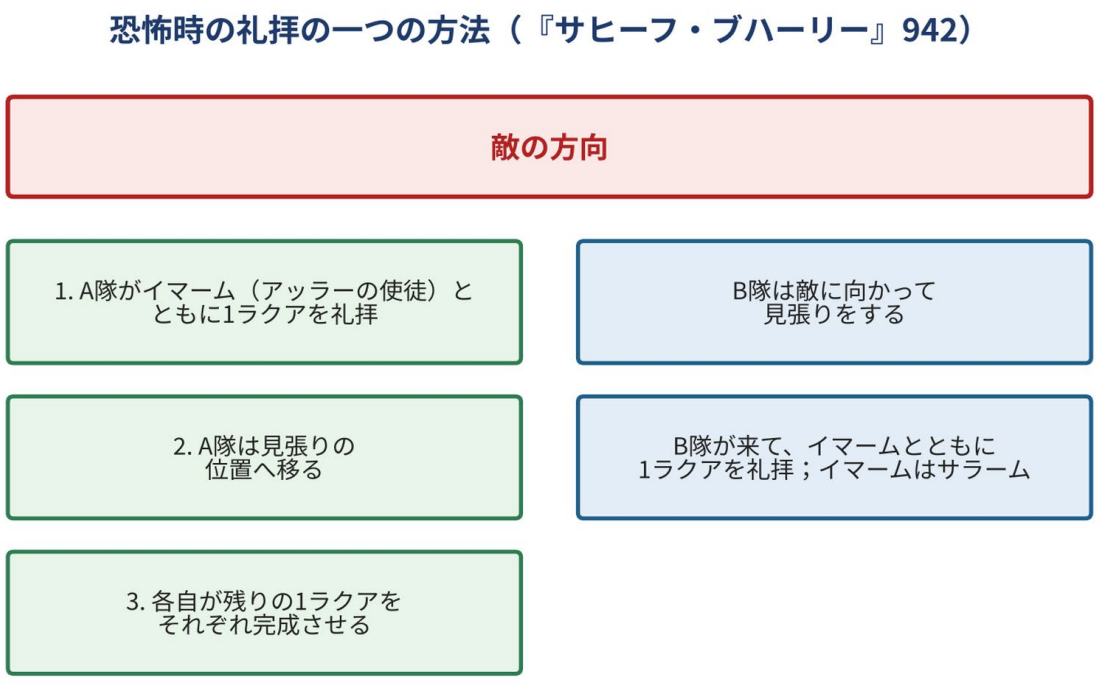


図 4：イブン・ウマルのハディースによる恐怖時の礼拝の一つの方法。

学者たちは、アッラーの使徒 ***beberapa cara*** から伝えられた恐怖時の礼拝には、敵の位置や戦場の状況に応じていくつかの方法があると述べています。ザート・アッ＝

リカーウについてのジャービルの伝承では、預言者は各隊とそれぞれ二ラクアを礼拝されました（『サヒーフ・ブハーリー』4136）。

教訓：**武装した敵の前で**さえ集団礼拝が免除されないのなら、平和な時にはなおさらです。礼拝は、どんな状況でも捨てられることのない宗教の柱なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

約束のバドル

ウフドの戦いの終わりに、アブー・スフヤーンはムスリムに**翌年バドルで**再び相まみえようと挑みました（スィーラ書）。アッラーの使徒 ﷺ はその挑戦を受けられました。その時が来ると、偽信者たちや一部の人々は、クライシュ族の強大さについて恐ろしい噂を広めました。アッラーは仰せられます：

「かの悪魔は、かれの追従者たちを、恐れさせるだけである。だからあなたがたが真の信者ならば、かれらを畏れずわれを畏れなさい。」『タフスィール・イブン・カスィール』3:175。

スィーラの注：後のバドル（ヒジュラ暦 4 年シャアバーン月）

スィーラ書によれば、アッラーの使徒 ﷺ は約 ***1,500*** 人の教友とともにバドルへ出陣し、クライシュ族を待って**八日間**そこに陣を張られました。アブー・スフヤーンはマッカを出ましたが、**干ばつの年**を口実に途中で引き返しました。

一方ムスリムはバドルの市場で商いをし、利益を得て帰りました。一部の注釈者は、3:173–175 の節をこの出来事とハムラー・アル＝アサドに結びつけています（『タフスィール・イブン・カスィール』）。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』；『タフスィール・イブン・カスィール』3:173–175。https://tafsir.app/ibn-katheer/3/175

教訓：ウフドからわずか一年で、ムスリムは**自信を取り戻し**、約束を守りました。一方、挑んできた敵は退いたのです。ウフドで傷ついたマディーナの威信は、**流血なしに**回復されました。

本巻の物語の典拠

本巻の物語は、信頼度の異なる三種類の典拠を通して私たちに伝わっています。本書は、読者が**何が確かで何が広く知られた話なのか**を知ることができるよう、三つを区別しています：

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

本巻の物語の典拠

クルアーン（6）

- 酒の禁止（5:90–93）
- ナディール族の追放（59:2）
- 切り倒されたナツメヤシ（59:5）
- ファイの財（59:7）
- 偽信者の偽りの約束（59:11）
- 恐怖時の礼拝（4:102）

真正なハディース（8）

- ラジーウ：アースィム、フバイブ、蜂
- マウーナの井戸；ハラーム・ブン・ミルハーン
- 一か月のクヌート；廃止された節
- マディーナの路地を流れた酒
- ナディール族の追放；ナツメヤシ；ファイ
- ウンム・サラマと災難の祈り
- ザート・アッ＝リカーウ；「誰がお前を救えるのか」
- 恐怖時の礼拝

スィーラ書（4）

- 石を落とす企て（ナディール族）
- 包囲の期間
- 約束のバドル
- 一部の出来事の日付

スィーラ書の話は、関連する章でその位置づけを説明している。

図 5：本書の物語の典拠の信頼度。

物語	典拠と等級
酒；ナディール族；ナツメヤシ；ファイ；偽信者；恐怖時の礼拝	クルアーン（5:90–93；59:2–12；4:102）— 確実

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

物語	典拠と等級
ラジーウ；フバイブ；アースィムと蜂	『サヒーフ・ブハーリー』3045 — 真正
マウーナの井戸；ハラーム；クヌート；廃止された節	『サヒーフ・ブハーリー』4090、4092、1003、2801 — 真正
ウンム・サラマと災難の祈り	『サヒーフ・ムスリム』918 — 真正
ザイド・ブン・サービト、ユダヤ文字を学ぶ	『スナン・アビー・ダーウード』3645 — ハサン・サヒーフ
落とされかけた石；ザイド・ブン・アッ＝ダスィナ；後のバドル	スィーラ書（イブン・イスハーク）— 広く知られる
ザート・アッ＝リカーウの年代	見解が分かれる：ヒジュラ暦 4 年（イブン・イスハーク）またはハイバルの後（ブハーリー）

スィーラ書の話が必ずしも偽りであるわけではありません。信頼されたスィーラ学者たちが伝えたものです。しかし、それはクルアーンや真正なハディースと**同じ等級ではありません**。この電子書籍は、イスラーイーリーヤート（イスラエル伝承）や明らかに偽造された伝承は**含めていません**。

ハサンとフサインの誕生

試練の年月のただ中で、アッラーはアッラーの使徒 ﷺ の家庭に喜びを授けられました。預言者の娘ファーティマ رضي الله عنها とアリー・ブン・アビー・ターリブ رضي الله عنه に、二人の息子が授けられたのです。スィーラ書（イブン・サアドほか）によれば、ハサンはヒジュラ暦3年ラマダーン月の半ば、つまりウフドの数週間前に生まれ、フサインはヒジュラ暦4年シャアバーン月に生まれました。二人の正確な誕生日については、歴史家の間で若干の相違があります。

二人の孫のためのアキーカ

ハディース：ハサンとフサインのアキーカ

イブン・アッバース رضي الله عنهما は、アッラーの使徒 ﷺ がハサンとフサインのためにアキーカ（誕生の犠牲）を行い、一人につき雄羊一頭をささげられたと伝えています。ナサーイーの伝承では、一人につき雄羊二頭とされています。

等級：サヒーフ（真正）— 『スナン・アビー・ダーウード』2841；『スナン・アン＝ナサーイー』4219。

このハディースはアキーカのスンナの基礎となっています。ウンマを導き敵に立ち向かう多忙さも、孫たちのために家庭のスンナを果たすことを妨げませんでした。

祖父としての愛情

ハディース：「アッラーよ、私はこの子を愛しています」

アル＝バラー・ブン・アーズィブ رضي الله عنه は言いました。私は、アッラーの使徒 ﷺ がハサン・ブン・アリーを肩に担ぎながら、こう言われるのを見ました。「アッラーよ、私はこの子を愛しています。ですからこの子を愛してください。」

等級：サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』3749。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

ハディース：二輪のライハーン（香草）

イブン・アビー・ヌウムは言いました。イラクの一人の男が、イフラーム中の者がハエを殺すことの規定についてイブン・ウマル رضى الله عنهما に尋ねました。イブン・ウマルは言いました。「イラクの人々はハエの血について尋ねるが、彼らはアッラーの使徒 ﷺ の孫を殺したではないか！預言者 ﷺ は言われたのだ。『二人（ハサンとフサイン）は、この世における私の二輪のライハーンである。』」

等級：サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』3753。

ハディース：天国の若者たちの長

アブー・サイード・アル＝フドリー رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと伝えています。「ハサンとフサインは、天国の住人である若者たちの長である。」

等級：サヒーフ（真正）— 『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3768（ティルミズィー：ハサン・サヒーフ）。

二つの集団の和解者

ハディース：「私のこの息子はサイイドである」

アブー・バクラ رضى الله عنه は言いました。私はアッラーの使徒 ﷺ が説教壇の上におられ、ハサン・ブン・アリーがそのそばにいるのを見ました。預言者は時に人々を、時にハサンを見つめながら言われました。「まことに私のこの息子はサイイド（高貴な指導者）である。願わくはアッラーが、この子によってムスリムの二つの大集団の間を和解させてくださるように。」

等級：サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』2704。

この予言はヒジュラ暦41年に実現しました。ハサン رضى الله عنه が流血を止めるため、カリフ位をムアーウィヤ رضى الله عنه に譲ったのです。その年は「アーム・アル＝ジャ

マーア」（統合の年）として知られています。ウフドの年に生まれた赤子が、後にウンマの和解者となったのです。

教訓

試練と恵みは交互にやって来ます。アッラーの使徒 ﷺ がおじと教友たちを失ったその同じ年に、アッラーは目を涼しくする孫たちをお与えになりました。子どもへの預言者の愛情、肩に担ぎ、彼らのために祈る姿は、すべての親と祖父母の手本です。どれほど忙しくても、子や孫に愛情を示すことを妨げてはならないのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヒジュラ暦 4 年の遠征隊（サリーヤ）

ウフドの後、マディーナ周辺のいくつかの部族は、ムスリムの力は折れたと考えました。彼らはマディーナを攻撃するために軍を集め始めました。アッラーの使徒 ﷺ は素早く行動し、小部隊（サリーヤ）を送って、その企てが大きくなる前に打ち砕かれました。下の表は、本巻で述べるヒジュラ暦 4 年の軍事的な出来事をまとめたものです。

月	出来事	概要	典拠
ヒジュラ暦 4 年ムハッラム月	アブー・サラマのカタンへの遠征隊	マディーナ攻撃の準備をしていたアサド族の地へ約 150 人を派遣。敵は大きな戦闘なしに散った。	スィーラ書（イブン・サアド）
ヒジュラ暦 4 年ムハッラム月	アブドゥッラー・ブン・ウナイス	ウラナで軍を集めていたハーリド・ブン・スフヤーン・アル＝フザリーを止めるため、単身で派遣された。	『スナン・アビー・ダーウード』1249；スィーラ書
ヒジュラ暦 4 年サファル月	ラジーウ	十人の宣教者がアダル族とカーラ族に裏切られた（第 2〜5 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』3045
ヒジュラ暦 4 年サファル月	マウーナの井戸	七十人のクッラーが殺された（第 6〜9 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』4090、4092
ヒジュラ暦 4 年ラビーウ・アル＝アウワル月	ナディール族	包囲と追放（第 11〜16 章）。	集合章 59:2–6
ヒジュラ暦 4 年（見解が分かれる）	ザート・アッ＝リカーウ	ナジュドへの遠征；恐怖時の礼拝（第 19〜21 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』4128
ヒジュラ暦 4 年シャアバーン月	約束のバドル	ムスリムはバドルで八夜待ったが、クライシュ族は来なかった（第 22 章）。	イムラーン家章 3:173–175

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・サラマと古傷

アブー・サラマ・アブドゥッラー・ブン・アブドゥ・アル＝アサド رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ のいとこで乳兄弟であり、カタンへの遠征隊を率いました。スィーラ書によれば、ウフドで負った傷が帰還後に再び出血し、彼は亡くなりました。その死後のウンム・サラマの祈りの物語は、第 17 章で語りました。

アブドゥッラー・ブン・ウナイス：歩きながらの礼拝

> **ハディース：身ぶりによる礼拝**
>
> アブドゥッラー・ブン・ウナイス رضى الله عنه は言いました。アッラーの使徒 ﷺ は私を、ウラナとアラファの方面にいたハーリド・ブン・スフヤーン・アル＝フザリーのもとへ遣わし、「行って彼を討て」と言われました。私が彼を見つけたとき、午後（アスル）の礼拝の時刻が来ていました。私は「彼との間に何かが起こって礼拝が遅れてしまうのではないか」と恐れました。そこで私は、身ぶりで礼拝しながら彼の方へ歩いて行きました。
>
> 等級：イブン・ハジャル（『ファトフ・アル＝バーリー』）はその伝承経路をハサンと評価 ― 『スナン・アビー・ダーウード』1249。

学者たちはこのハディースを「サラート・アッ＝ターリブ」、すなわち敵を追っていて取り逃がすことを恐れる者の、軽減された方法での礼拝の根拠としています。スィーラ書はさらに、アッラーの使徒 ﷺ がアブドゥッラー・ブン・ウナイスに、審判の日における二人の間のしるしとして一本の杖を贈り、その杖は彼とともに埋葬されたと付け加えています。この追加はアフマドとイブン・イスハークが伝えたもので、その伝承経路については**見解が分かれています**。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版

教訓

敗北を弱さのしるしにしてはなりません。アッラーの使徒 ﷺ は敵がマディーナに来るのを待たず、勇敢な小部隊で先手を打たれました。そして重大な任務の最中にも、アブドゥッラー・ブン・ウナイスは時刻どおりに礼拝を守りました。これは、どれほど忙しくても礼拝の義務は免除されず、イスラームはその方法を軽くするだけだと教えています。

本巻の人物

本巻には、殉教した人、生き残った人、イスラームに敵対した人など、多くの名前が登場します。下の表は、読者が彼らを簡単に知る助けとなります。

ムスリム側

人物	役割	典拠
アースィム・ブン・サービト	ブハーリーによればラジーウの一行の長。遺体は蜂に守られた（第 5 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』3045
マルサド・ブン・アビー・マルサド・アル＝ガナウィー	イブン・イスハークによればラジーウの一行の長。ラジーウで殉教。	スィーラ書
フバイブ・ブン・アディー	捕らえられマッカで殺された。殺される前に二ラクアを礼拝した最初の人（第 3〜4 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』3045
ザイド・ブン・アッ＝ダスィナ	フバイブとともに捕らえられ、タンイームで殺された。	スィーラ書（イブン・イスハーク）
アル＝ムンズィル・ブン・アムル・アッ＝サーイディー	マウーナの井戸の一行の長。殉教。	スィーラ書
ハラーム・ブン・ミルハーン	手紙の運び手。「カアバの主にかけて、私は勝利した！」（第 7 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』4092
アーミル・ブン・フハイラ	アブー・バクルの元奴隷。遺体が天に上げられた（第 6 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』4093
アムル・ブン・ウマイヤ・アッ＝ダムリー	マウーナの井戸の生存者。盟約のあるアーミル族の男二人を誤って殺した。	スィーラ書
カアブ・ブン・ザイド	マウーナの井戸で負傷したまま置き去りにされたが生き延び、後にハンダクで殉教。	スィーラ書
アブー・サラマとウンム・サラマ	アブー・サラマはウフドの傷で亡くなり、ウンム・サラマは信仰者たちの母となった（第 17 章）。	『サヒーフ・ムスリム』918

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

人物	役割	典拠
ザイド・ブン・サービト	短期間でユダヤ文字を習得した（第 18 章）。	『スナン・アビー・ダーウード』 3645

敵対した側

人物	役割	典拠
アーミル・ブン・アッ＝トゥファイル	リウル、ザクワーン、ウサイヤの部族をそそのかしてクッラーを殺させたアーミル族の長。	スィーラ書；ブハーリーの伝承にも言及
アブー・バラー・アーミル・ブン・マーリク	マウーナの井戸の一行に保護を保証したが、その保証は甥のアーミル・ブン・アッ＝トゥファイルによって裏切られた。	スィーラ書
フヤイイ・ブン・アフタブ	裏切りを企てたナディール族の長（第 11 章）。	スィーラ書
アブドゥッラー・ブン・ウバイ	ナディール族に偽りの援助を約束した偽信者の頭目（第 14 章）。	集合章 59:11
ガウラス・ブン・アル＝ハーリス	ザート・アッ＝リカーウでアッラーの使徒 ﷺ に剣を抜いた男（第 20 章）。	『サヒーフ・ブハーリー』 4136
アブー・スフヤーン・ブン・ハルブ	バドルでの再会を約束したが来なかった（第 22 章）。後のマッカ征服の際にイスラームに入った。	スィーラ書

スィーラ書によれば、ザイド・ブン・アッ＝ダスィナが殺される前、アブー・スフヤーンが彼に尋ねました。「今ここにムハンマドがお前の代わりにいて、お前は家族と一緒にいられたらと願わないか？」ザイドは答えました。「アッラーにかけて、私が家族と座っている間に、ムハンマドが今いる場所で棘一本に刺されることさえ望まない。」アブー・スフヤーンは言いました。「ムハンマドの教友たちがムハンマドを愛するほど、誰かが誰かを愛するのを私は見たことがない。」この物語は**ス**

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

ィーラの伝承（イブン・イスハーク）で、広く知られていますが、真正の段階には達していません。

教訓

すべての出来事の陰には、それぞれの名前と選択を持つ人間がいます。最後の一滴の血まで忠実であることを選んだ者もいれば、約束しておきながら裏切りを選んだ者もいます。彼らの名前を知ることでスィーラはいっそう生き生きとし、歴史は最終的に一人ひとりの選択を記録するのだと思い出させてくれます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

出来事の場所

本巻の出来事は、ヒジャーズとナジュド周辺のいくつかの場所で起こりました。今日でも知られている場所もあれば、ヤークート・アル＝ハマウィーの『諸国辞典（ムウジャム・アル＝ブルダーン）』のような古い歴史書や地理書から、おおよそしか分からない場所もあります。

場所	出来事	位置
ラジーウ	十人の宣教者への裏切り	ウスファーンとマッカの間、ハダアの地域にあるフザイル族の井戸。
タンイーム	フバイブとザイド・ブン・アッ＝ダスィナが殺された場所	マッカの聖域の外、北の方角。今日ここにはアーイシャ・モスクがあり、マッカの住民がウムラを行う際のミーカート（入域地点）となっている。
マウーナの井戸	七十人のクッラーの殺害	ナジュドの方面、アーミル族の土地とスライム族の溶岩台地の間にある井戸。
ナディール族の集落	包囲と追放	マディーナ南東部のアーリヤ地区、クバーの近く。
ブワイラ	切り倒されたナツメヤシ（第 13 章）	ナディール族のナツメヤシ園。この名は『サヒーフ・ブハーリー』4031 に出てくる。
ハイバルとシャーム	追放後のナディール族の行き先	その大部分はハイバルへ、一部はシャームへ移った。
ザート・アッ＝リカーウ	遠征と恐怖時の礼拝	ナジュドのナフル地域、ガタファーン族の土地。
	約束のバドル	バドル：年に一度の市が立つ場所で、ヒジュラ暦 2 年の戦場。

ラジーウとマウーナの井戸の正確な位置は、今日では確定できません。その位置を確認した考古学的調査がないため、本書には詳細な地図を載せていません。上の推定は古典的な地理書に基づいています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓

アッラーの使徒 ﷺ の宣教はマディーナに限られませんでした。教友たちはクルアーンを伝えるために、砂漠や岩山、人里離れた井戸を越えて行きました。その痕跡が時とともに地上から消えてしまっても、これらの地名は彼らの犠牲の証人なのです。

年表：ヒジュラ暦 3 年ラマダーンから 4 年シャウワールまで

次の表は、本巻の出来事を時間の順に並べたものです。日付は信頼できるスィーラ書によるもので、見解の分かれる日付にはその旨を記しています。

時期	出来事	章
ヒジュラ暦 3 年ラマダーン月	ハサン・ブン・アリーの誕生	24
ヒジュラ暦 3 年シャウワール月	ウフドの戦いとハムラー・アル＝アサド（第 10 巻）	1
ウフドの後	酒の最終的な禁止（正確な日付は見解が分かれる）	10
ヒジュラ暦 4 年ムハッラム月	アブー・サラマのカタンへの遠征隊；アブドゥッラー・ブン・ウナイス	25
ヒジュラ暦 4 年サファル月	ラジーウの出来事	2〜5
ヒジュラ暦 4 年サファル月	マウーナの井戸の出来事	6〜7
ヒジュラ暦 4 年サファル月〜ラビーウ・アル＝アウワル月	一か月間のクヌート・ナーズィラ	8
ヒジュラ暦 4 年ラビーウ・アル＝アウワル月	ナディール族の包囲と追放；集合章の啓示	11〜16
ヒジュラ暦 4 年ジュマーダー・アル＝アーヒラ月	アブー・サラマの死去（イブン・サアドによる；別の見解もある）	17、25
ヒジュラ暦 4 年（見解が分かれる）	ザート・アッ＝リカーウと恐怖時の礼拝（ブハーリーはハイバルの後とする）	19〜21
ヒジュラ暦 4 年シャアバーン月	フサイン・ブン・アリーの誕生	24

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

時期	出来事	章
ヒジュラ暦 4 年シャアバーン月	約束のバドル	22
ヒジュラ暦 4 年シャウワール月	アッラーの使徒 ﷺ がウンム・サラマと結婚	17

教訓

約一年の間に、マディーナの社会は敗北、宣教者たちの殺害、隣人の裏切り、そして戦争の脅威に直面しました。しかし同じ時期に、聖法は整えられ、アッラーの使徒 ﷺ の家族は増え、ムスリムは勇敢にバドルへと出陣しました。出来事を一本の年表で見ると、試練と勝利がしばしば並んで進むことが分かります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「試練に次ぐ試練」についてのよくある質問

1. なぜアッラーの使徒ﷺは、ラジーウの出来事の後も宣教者を送り続けられたのですか？

マウーナの井戸の出来事はラジーウの直後に起こりました。その一行は、保護を保証したアブー・バラーの求めに応じて派遣されたのです。一度の裏切りで宣教の責任がなくなるわけではありません。預言者は、ナジュドの諸部族がイスラームを受け入れることを願って、なおもクッラーを送られたのです。

2. フバイブが殺される前に二ラクアを礼拝した最初の人というのは本当ですか？

はい。ブハーリーのハディースは、捕らわれの身で殺されるすべてのムスリムのために二ラクアの礼拝をスンナとして始めたのはフバイブ رضى الله عنه だと述べています（『サヒーフ・ブハーリー』3045；第 4 章）。

3. クヌート・ナーズィラと夜明けの礼拝のクヌートの違いは何ですか？

クヌート・ナーズィラは、ウンマに大きな災難が降りかかったときに唱えるもので、アッラーの使徒 ﷺ がマウーナの井戸の後に一か月間行われたものです（『サヒーフ・ブハーリー』1003；第 8 章）。夜明けの礼拝で常にクヌートを行うことは別の法学上の問題で、シャーフィイー派では他の典拠に基づいてスンナとされています。本書ではそれを論じません。

4. 酒はいつ禁じられたのですか？

酒の禁止は段階的に行われました。雌牛章 2:219、次に女性章 4:43、そして最後に食卓章 5:90–91 です。ジャービル رضى الله عنه は、一部の教友がウフドの朝に酒を飲み、その日のうちに殉教したこと、そしてそれは酒が禁じられる前のことだったと述べています（『サヒーフ・ブハーリー』4618）。これは、最終的な禁止がウフドの後であったことを示しています（第 10 章）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

5. ナディール族は殺されたのですか？

いいえ。彼らは追放され、武器を除いてラクダが運べる財産を持ち出すことを許されました。クルアーンは、彼らが自らの手で家を壊したと述べています（集合章 59:2；第 12 章）。

6. イスラームは破壊を禁じているのに、なぜナツメヤシが切り倒されたのですか？

それは特別な戦時の状況において、アッラーの許しによって行われました。集合章 59:5 でアッラーが仰せられているとおりです（第 13 章）。作物を損なうことの一般的な禁止はそのまま残ります。この例外は、その時の戦争上の必要に限られたものです。

7. ファイとガニーマの違いは何ですか？

ファイは、ナディール族の財産のように、戦闘なしに得た敵の財産です（集合章 59:6–7；第 15 章）。ガニーマは戦闘によって得た戦利品で、その分配は戦利品章 8:41 に述べられています。

8. なぜその遠征はザート・アッ＝リカーウと名づけられたのですか？

アブー・ムーサー・アル＝アシュアリー رضي الله عنه は、長い道のりを歩いたために足が傷つき、布切れ（リカーウ）で足を巻いたと語っています（『サヒーフ・ブハーリー』4128；第 19 章）。

9. ザート・アッ＝リカーウで剣を抜いた男は誰ですか？

ブハーリーの伝承では、その名はガウラス・ブン・アル＝ハーリスとされています（『サヒーフ・ブハーリー』4136）。ジブリールが彼の胸を突いて剣が落ちたという追加の話は一部のスィーラ書にありますが、その伝承経路は**弱い**ものです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

10. なぜアブー・スフヤーンはバドルに来なかったのですか？

スィーラ書によれば、アブー・スフヤーンはクライシュ族の軍とともに出発しましたが、干ばつの季節を口実に引き返しました。クルアーンは、脅されても出陣したムスリムを称えています。「アッラーこそはわたしたちにとって万全であり、最も優れた守護者であられる」（イムラーン家章 3:173；第 22 章）。

11. アーミル・ブン・フハイラの遺体が天に上げられたというのは本当ですか？

アーミル・ブン・フハイラが殺された後に上げられたという伝承は、『サヒーフ・ブハーリー』4093 にあります。それは目に見えない世界の出来事であり、私たちは伝えられたとおりに受け入れ、ハディースに述べられていない詳細を付け加えません。

12. なぜ本巻は「試練に次ぐ試練」と名づけられたのですか？

ウフドの後の一年間に、試練が次々とやって来たからです。ラジーウとマウーナの井戸での裏切り、ナディール族の脅威、教友たちの死、そしてクライシュ族の脅威です。アッラーは仰せられます。「われは恐れや飢え、財産や生命や果実の損失で、必ずあなたがたを試みる」（雌牛章 2:155）。

教訓

これらの質問は、ヒジュラ暦 4 年のスィーラが、法学、信仰、品性の教訓にいかに富んでいるかを示しています。真正な伝承と弱い伝承を区別することで、確かでない物語に頼らずに、確信をもって教訓を得ることができます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

ウフドとハンダクの間の期間は、マディーナの社会にとって**最も困難な**年月でした。宣教者たちの喪失、隣人の裏切り、そして外からの脅威です。しかし同じ時期に、彼らの信仰はいっそう堅固になり、聖法はいっそう完成していきました。

教訓	本巻から
捕らわれの中での堅固さ	フバイブ：信義、ニラクアの礼拝、信仰の詩（3045）
真の勝利	「カアバの主にかけて、私は勝利した！」（4092）
悲しみを祈りの中へ	一か月のクヌート（1003）
すみやかな服従	マディーナの路地に流された酒（2464）
約束を裏切った結末	ナディール族の追放（59:2；4028）
財の公正	「富裕な者たちの間だけで財が回らないように」（59:7）
災難の時の祈り	ウンム・サラマはより良いもので代えられた（ムスリム 918）
タワックルと赦し	剣の切っ先で「アッラーだ」（2910）
礼拝は捨てられない	敵の前での恐怖時の礼拝（4:102；942）

私たちの人生における試練

すべての信仰者は「試練に次ぐ試練」を経験します。愛する人の喪失、裏切り、恐れ、そして生活の苦難です。本巻は、信仰者の答えが昔から変わらないことを教えています。「**まことに私たちはアッラーのものであり、彼のもとに帰る者です**」と唱え、それから努力し、祈り、忍耐し続けるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

インシャー・アッラー、『**預言者伝（スィーラ）**』は**ハンダク（部族連合）の戦い**（第 12 巻）へと続きます。敵の連合軍全体がマディーナを包囲し、ムスリムが塹壕を掘った戦いです。アッラーこそが最もよくご存じです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンとタフスィール

聖クルアーン、ウスマーン版のアラビア語本文と三田了一訳。https://quran.com/ms

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈（タフスィール・アル＝クルアーン・アル＝アズィーム）』（雌牛章 2:156、219；イムラーン家章 3:169–175；女性章 4:43、102；食卓章 5:11、90–93；集合章 59:1–21）。https://tafsir.app/ibn-katheer/59/2

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』942、1003、2464、2801、2904、2910、3015、3045、4028、4029、4031、4088、4090、4091、4092、4093、4095、4128、4136、4986。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』918、1731。https://sunnah.com/muslim

『スナン・アビー・ダーウード』3645；『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2715。https://sunnah.com/abudawud:3645

スィーラと歴史の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』（イブン・イスハークからの伝承）— ラジーウ、マウーナの井戸、ナディール族、ザート・アッ＝リカーウ、後のバドルの章。

イブン・サアド『大伝記集（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』；イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』。

サフィーユッラフマーン・アル＝ムバーラクプーリー『封印された美酒（アッ＝ラヒーク・アル＝マフトゥーム）』— ウフドの後の章。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー（サヒーフ・ブハーリー注釈）』——遠征の書。

Wikipedia「Expedition of Al Raji」。https://en.wikipedia.org/wiki/Expedition_of_Al_Raji

Wikipedia「Expedition of Bir Maona」。https://en.wikipedia.org/wiki/Expedition_of_Bir_Maona

Wikipedia「Invasion of Banu Nadir」。https://en.wikipedia.org/wiki/Invasion_of_Banu_Nadir

Wikipedia「Banu Nadir」。https://en.wikipedia.org/wiki/Banu_Nadir

Wikipedia「Umm Salama」。https://en.wikipedia.org/wiki/Umm_Salama

Wikipedia「Zayd ibn Thabit」。https://en.wikipedia.org/wiki/Zayd_ibn_Thabit

ハディースと追加の典拠

『サヒーフ・ブハーリー』3749（アッラーの使徒 ﷺ の肩の上のハサン）。https://sunnah.com/bukhari:3749

『サヒーフ・ブハーリー』3753（二輪のライハーン）。https://sunnah.com/bukhari:3753

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3768（天国の若者たちの長）。https://sunnah.com/tirmidhi:3768

『サヒーフ・ブハーリー』2704（二つの集団の和解者ハサン）。https://sunnah.com/bukhari:2704

『スナン・アビー・ダーウード』2841（ハサンとフサインのアキーカ）。https://sunnah.com/abudawud:2841

『スナン・アビー・ダーウード』1249（身ぶりで礼拝したアブドゥッラー・ブン・ウナイス）。https://sunnah.com/abudawud:1249

『サヒーフ・ブハーリー』4618（ウフドの朝の酒）。https://sunnah.com/bukhari:4618

『サヒーフ・ブハーリー』4136（ガウラス・ブン・アル＝ハーリス）。https://sunnah.com/bukhari:4136

Wikipedia「Masjid Aisha」（タンイーム）。https://en.wikipedia.org/wiki/Masjid_Aisha

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

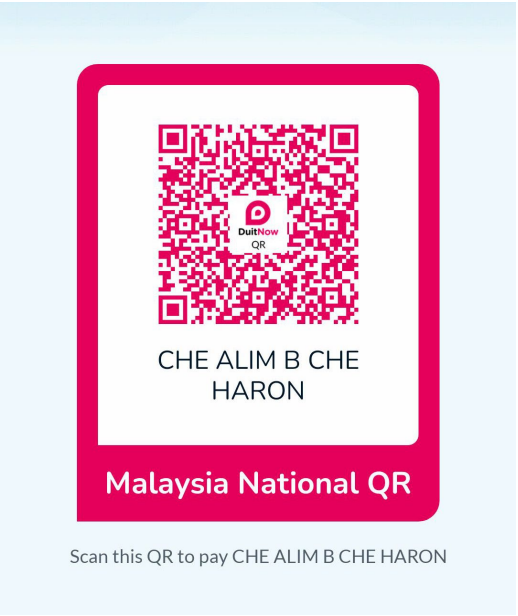
ル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience